

2N-10

特67 特54

93-593

宮下貞象
伊藤光平
編閱

第一學年用

高等小學
國語讀本字引

東京
上原書店藏

例言

一、本編は普及及舎編輯發行にかゝる國語讀本を學ぶ兒童の爲に編纂したるものなり。故に甚平易なる熟語に至るまで、皆摘記して、之に解釋を施したり。

二、解釋を施す法二あり。語句を解釋する一なり。俗語に譯説する二なり。本編は主として後者の法を取りたりと雖、又前者を取らざる可らざることありて、往々兩法を兼ねたるものとへあり。斯る場合には解釋に屬するものは、括弧を以て他と區別せり。

- 三 解譯に使用したる語は、兒童に理會せらるゝ卑近の俗語なること勿論なれども、一地方のみに行はるゝ方言の如きは、力めて之を避けたり。
- 四 字音假名遣は、小學校令施行細則に由れり。
- 五 摘記の順序は、一に本文の順序に従へり。同一の語と雖、稍難きものは、再三摘出せり。兒童用の字書宜しく然るべきものと信じたればなり。

六 本編は、全部を四冊とし、一冊を以て一學年に充てたり。

明治二十四年三月

編者誌す

高等小學 國語讀本字引 第一學年用

◎ 卷之一

宮下貞象 閱
伊藤光平 編

第一課

此課ニハ、ワレノ、ガ、高等科ニナ
リテカラ、ヤルコトガ、カイテアル

一 始業

本業

教科

ぶかく學の道に入るこ

とをりべし

フカク、ガクモンノミチニ、イ
ルコトガ、テキルデアラウ

日本歴史

ワガクニ、ゴダイダイノミヨニ、ガコツタコト
ヤ、ソノホカイロイロムカシカラノコトチ、カキ

地理

地球上一切ノ
形勢ヲ云フ

理科

ナドニアツ、シヨクアツ、カネ、イシ、ツチ、
シラベルガタモンチイフ

二 得ざり

有益

ナラメニ、
ナラ

智識

國語

ワガクニノコトバニテ、ヨ
クミ、カキ、ハナスコトチイフ

課程

アテハメテ、ナラ

徳

ををよめ

體をきたひ

忠良

三

通學

ヘ、カヨフ

期せざるべからずココロニ、キメ
ネメナラヌ

第二課 此課ニハ、神武天皇祭ノ、
イハレガカイテアル

特にコト
シニツダ 勅使チヨクシ
オオンツカヒ 山陵サンリョウ
ミサ 御親祭ゴシンサイ
ツリヲ、ナサル、コト 四人皇ヨシイ
天神武
天皇

カラ、ゴダイダ
イノ、天皇陛下
太子ダイ
ツギ カネテ天皇ノ御位ヲツギ玉フベ
ク定メラレタル皇子ヲ申シ奉ル 崩ホ
ク 天皇陛下又ハ皇后陛下ノ御カ
クレアツバサル、コトヲ申ス 中國チユウ
ヤマト

アタリ
チイフ 諸賊シヨ
ツク オホクノ、
ワルモノ 五イ
ツ 暴風ボウフウ
カセ 薨コ
シ ガ、シメコトチイフ
井ノ、タカキ人 難儀ナンギ
ヲ ナシキニ、
テアフ ひ

るませられずオヨアリ
ナサレズ 君臣上下クニシ
ンシヨカ の分ブン
ウヘシタノキマリ 國體クニ
タマ ガクニ おごそか

イカメ威儀正シク、リツ
シキ ナル有様チイフ 稱タ
カ へらるホメラ
ル 六イ
ツ 御遺徳ゴイ
トク オノコシナサ
レタ、メグミ かしこみて

ツイシ
ミテ

第三課 此課ニハ、春ノ雪ノコト
ナ、ウタニツクツテアル

春雨ハル
アメ のどかにそニシツカ
ニフル ぞゾ
ルデア 七イ
ツ かけぬらんカケ
ケルデア めぐみ

のつめにうるほひナサケテ
ウケテ 學マカ
シ のまどガクコ
ノコト 花ハナ とさきみのる身ミ とな

らんクサキニ、花ガサキ、ミガイル
ヨリニ、リツバノミトナラウ

第四課 此課ニハヤマトノ吉野山ノ
サクランボコトガカイテアル

八カスミ 霞カスミ
カ たなびくカスミガ
カトル かカ しこの岡オカ
ノ小山 ろロ すくれなるの色イロ して

ウスアカイ
色ガシテ 匂ニホ
フ へるケイル
ニ しくものあらんオヨア
モノガアラウ 外國トク
クニ 嵐山ア
ラシヤマ

九フモト 麓フモト
スツ 奥オク の院イン 櫻サクラ ならぬはなしノハ、ナシ 十イ
ツ 半腹ハン
ブツ 頂立テイ
テイ

春ハル ハルノ二月五六
日頃ナリ 一目千本ヒト
メ、セン 花ハナ の雲クモ におほはれタクサ
ンノ、花 仙郷セン
キョウ センニ
ンノ、ス

十一ハチ 八田知紀ハチ
タチ 景色ケシキ 満山マン
サン 幾重イ
クヘ

第五課 此課ニハ花ノコト
ガカイテアル

時節ジセツ 野邊ノヘ かずかぎりカズ
カギリ なきカズ
モシレヌホ 色香イロ
カ 十二イ
ツ 普通フツ
ブ 萼ガク

花冠 雄蕊 雌蕊 そまはれり 十二 包被、防ぐ 通例

へ 緑 各片 部分 花弁 構造 花絲 藥 既に 熟す

ルイ 黄粉 十四 中心 花柱 子房 頂端 柱頭 成長

芽 再 uring はしきみえ

第六課 此課ニハ植物ノイキテチルシカダガ、カイテアル

十五 生活 大抵 水分 莖 幹 一箇の植物 呼吸 十七 養 倒

れざる 用意 液汁 吸ひ 十六 生命 呼 順序 十八

分 固有 具へ 自 枝葉 完全 順

違ふ 自然の妙ノ、キミヨ一ナルコト おどろくべきにあらざるや

オドロクベキケテアル

第七課 此課ニハうぐひすなチオクル手紙トソノレイノ手紙トガカイテアル

拜啓 追々 珍し 御笑味 匂々 十九 拜復

只今 野菜 別段 注意 丹誠 感伏 賞味

第八課 此課ニハ、人ノシゴトニ、イロクノルイガアルコトガ、カイテアル

職業 士 農 工 商 穀物 二十 蠶 果樹

家屋 道路 器具 物品 賣買 漁業 運送業

特別 官吏 略 職務 二十 志 立ツル

事情 才能 方向 一旦 途中 屈スル 阿克マデ

志ヲ貫ヌク 従事 用ヲ充タシテ 幸福ヲ増ス

二十三 正道 異ナリ 相侮リ 相忌ム

第九課

此課ニハワガクニノ、農業ノアリサマガカイテアル

國ノ本國ノ、二パンタイ

代々

全國到ル處ニコクニヤエー、ド

殊ニテモ

近年チカ

二十四

政府

亦

頻ニクド

勵マシ

農會

共進

會

設ケ

教育

日ヲ追ヒテマシ

米穀

耕作

言フニ及バス

養蠶

養禽

牧畜

從ヒテ

改良法

發見

農産物

麥

生絲

二十五

綿

煙草

砂糖

新潟

兵庫

埼玉

福島

宮城

山形

長野

福岡

熊本

諸縣

静岡

滋賀

臺灣

沖繩

鹿兒島

廣島

愛知

推シ

長崎

名アリ

家禽

家畜

飼養

漸

大ニ赴ケリ

古來

モシクハ

西洋諸國

進歩セ

シメザルベカラズ

第十課

此課ニハ、女ノテア

二十七

手藝

所作

裁縫

洗濯

恥

糸繰

食物

料理

價

貴からぬ

要す

習練

達

二十九

手習

手ぶり

絲竹のしらべ

品高

三味線

三十

世にたゝん女子なりとも

シテ、井ヨ

いかで

よかるべき

第十一課

此課ニハくるめびすりチ、ハツメイシダ、井

井上

筑後

久留米

幼

機織

あっぱれ

工ヨノ中ニ、ナノシレヲダ
且ツソノ獨
とまぐくイロ
工夫をこらすニ、シヨクケンメイ

試シタメ
三十一
まだら
霜降
ほめ、はやしき
認
販路

ひきもさらず
三十二
弟子
著れけり
九州
追賞

贈り
とぞ
抑
富源
類まれなる
もとづく

ところろ
三十三
極めて

第十一課 此課ニハ、八ニ、カヒモノヲタノム、手紙ト、ソノヘンシトガ、カイテアル

承れば
博覽會
見物
甚恐入り
七圓内外

飛白
壹端
着用
地柄
宜しき様に
添へ

四拜見
扱
吳服買求め
承知
請取
精々
出發
暇乞

参り
思召
敬白

第十二課 此課ニハ、宮崎安貞トイフ農ニツキテノガクシヤノゴトガ、カイテアル

農業全書
有益
書籍
三十五
十卷
著はし

文太夫
安藝
藩士
若き
筑前
藩主
黒田侯
仕

へたり
老農を訪ひ
究めて
自
手足を勞し

て
營む
村民
導きて
專一
殖産
興業

カニニ
勉めて
三十六
著
苦辛
當時
賢君
三

十七
聞え高かりし
水戸侯
人世
なかるべからざ

る書
貝原益軒
評
經濟
謙遜
徳義

を重んじ
ほこる
救ひ
世を益したる
末孫

三十八
古今に得がたき
縣廳
末孫

貢名ノ 賜へりクダサ

第十四課

此課ニハ、土ニツキテ
ノコトガ、カイテアル

住ひなからスナガワ、井 目なれてレミナ 稀細かに 面白き 元來カヲ 底

三十九 表面テオモ 場所 性質アノイ 山路崖 上層ダヘノ、 次赤土小

石交り 堅き岩石イハ、 次第ダ 是土地成立の自然の有様にし

てコレハ土地ガテキダ、 作土 底土 心土 四十 石燈籠 角を損じハシテ

細末カマ 分布ガハロ 混じリマツ 四十一 埴土ツチニ 沙土ツチナ 壤土チマツ 礫土小

ノ土リ 粒 疎通ヒヨ 農具につきてヒヤクシヨード 乾く 伸びず 四十二

多量サンク 含めるモツテ、 自由、 はびこるガハロ 枯らす 眞土乏しくク

クナ 四十三 生育ダツ、ソ 適せずソセオ 一定テナル 櫻島 山城 紀伊 蜜柑

阿波 甘蔗キビト 特有ニ、アル 地味ノ、ヨシアシ 適當ドヨイ 肥料シヤ 手入地

質ヨ、シ 四十四 理をわきまへニオトシテ

第十五課

此課ニハ、ワガクニノ、刀
ノコトガ、カイテアル

日本刀 劍 靈劍ツルギ 素戔鳴尊 日本武尊 東夷ヒガシノ 四十五

御寶 尙ダマ 三種ノ神器ニノマガタマ、コノ三イロノオンタカラチイフ 草薙ノ 劍 尾張

熱田神宮 納メ 諸及リハ 片及 發明イダス 四十六 ツギくニダ

ニダン 一條天皇 三條小鍛冶宗近 後宇多天皇 粟田口吉光 相州

正宗 四十七 戦争サイク 刀劍ツルギ 需用ヨリ 術ザワ 武士ノ魂 貴重トアツ

武勇 マシキコト 海外ニ輝カシタリマヤカシタ 支那人 夙ニカラク、 銳利ス

シド 詩 主要ナル 四十八 武器ドクサノ、 愛重ニスル 千金ヲ投ジテ 千圓ダ

客マザル

第十六課

此課ニハ、福島安正サンガ、イコクチ、旅行セラレタハナシガ、カイテアル

少將 旅行談 安樂 艱苦 古語 艱難汝を玉にす

謂 嘗 演説 十數里 森 唯 宿る處の家 亞細亞大陸 戒

四十九 掲げん 得るにすぎず 露國

板下蔭 鹽肉 雞卵 顔面 屢 氷雪 身體 僅に

内地 五十 寒氣 粗惡 言にたへず 西比利亞

體溫 辛うじて 熱沙 反射 五十一 眼を痛むる 偶 肉眼に認

炎熱 熱沙 反射 五十一 眼を痛むる 偶 肉眼に認

めうべき 浮ぶ 西瓜 甜瓜 波斯 五十二 堂々

テル 西洋ノ 美味 汽船 美食にあきたる時 旅中 勞
ものせしもの 安逸 参考書 有 富貴 遊
思想 敏活 困苦 五十三 有用 富貴 遊
惰 銳

第十七課

此課ニハ、錢屋五兵衛ト云フ、商人ノハナシガ、カイテアル

天保 貿易 巨萬 五十四 藩 御用達

木谷某 廻船業 獨立 かたはら 諸島 往

來 貨物 區域 三宅島 擇捉島 二千五百石積 たゞよ

ひて 米國 五十五 富盛 將來 決心 再航

約をはたさん ため 太平丸 營みたり 五

十六番頭 輸出 剛毅 剛毅ツヨイ ぐるまひナイ

第十八課 此課ニハ、富士山ニノボルコトニ

たへがたきラレヌ 便なり ヲクアル 五十七 登山ノボル 駿河 通路

驛 海面をぬくノ、タカサ 裾野 山ノスツニア 五十八 雲をしのぎて

強力案内 浅間神社 樹木 五十九 金剛杖 かくべからざ

かすかなり クアル 険し アブナイ 猶 頂上 山ノテ 六十一 山ノ頂チ、コス

る ナクテハ 眼界 殆 頂上 山ノテ 六十二 東方ノカタ

屋根をおほへり セテアル 一合 頗 匍匐 加ふるにウソ 薄く呼

吸迫りて マツテ 汗 歩をとどむれば ヤムレバ 忽ち 骨に透り おぼ

ゆ オモハ 六十一 山ノ頂チ、コス 暮 暖を取るべし

既に 炊ぐ 煮え とながら 蠟

第十九課 此課ハ、マヘノ

翌日 星をいただきて アサハヤク、ホシ 下界 シタノ地 六十二 東方ノカタ

白みわたる ルクナル 程なく 淡紅 カイ 深紅 カマツ 光線 リヒカ 發射して イサシ

旭日 昇れば 覺し 遠近 コチラモ ひとしく ドニチ 雲霧の衣をぬぐ

愈 面色 イロ 六十三 顧れば 六十四 活火山 火ヲフキ 噴火

口 火ヲフキ 煙 千古 千年モ、ム 周圍 マハ 許 劍峰 大日 岳 釋迦 岳 駒

岳 一週 ハリ 先年 トシノ 野中至氏 (氏トハ、人チア) 夫妻 フー 不便 フツ 恐ビラ

氣象 テンキノ 觀測 ルハカ 設あり テアル 六十五 二泉 シミツノ 一小祠 シ

むれば 茫々として シテ 恰イド 盆水 ツタ水 川流 ナガレ 白線 シロキ 遙

にクトホ 大洋と連なり大海ト、ツ 水天一色水天一色 同シイロ 壯ソバ 筆舌の及ぶ所に

あらずフデニモカケズ、 六十六 歸途カヘリ 一步進ば復止まる所を知ら

ずヒトアシフミダセバ、ド 費せども 達すべしデアラウ

第二十課 此課ニハ、遠足ヲス、ムル手紙ト、

謹啓テ申ス 昨今ヒダ 午前マヘ 六十七 上野公園 品川灣 見込 遠

足ソク 企てタツ 同遊アソブ 返事 趣 大賛成 健康シヤ 害

し 六十八 折柄 誘ひ

第二十一課 此課ニハ、汽車ニノル、

横濱間 鐵道 全國汽車 旅人 概オホムネ この便をかるソコ

カゲニナル 大要を述べんオホヨソチ、申 旅客カク 相当ソレ 賃金 拂ひ 乗車

券ケン ノルマニ 掛員カケリ 検査ケンサ 六十九 更にニ 決してキツ 列車進行

中ナカ ヲクルマノス、ミ 乗降ジョウ オリタリ 下車ゲ 汽車カラ 一泊乃至數泊ヒトパンマダハ三四 七十

手荷物 等級トウキョウ 但ダ 荷造 堅固ケンコ 名札 便なりとすツゴイガヨイ 七

十一 如きはハナド 公衆コウシュ ノ人々 妄ミダ ラ 停車場テイシャ マルバシヨ 不良フヨウ ナイ 係員ケイイン 妨サマ

規則 守り 旅客待合所リョクヤクマテアヒ 掲示ケイジ メスコト 不慮フリ ケナイ 際サイ

譲り

第二十二課 此課ニハ、温泉ノコ

温泉オンセン 七十二 冷ヒヤ、カ 物質ブツツ シモノ 治療チリョウ リヤ 浴スルヨク ルハイ 湯治トウヂ 作用サヨウ ラキタ

運動 新鮮ノ大氣ダイキ キクイキ 世間ノ用務ニ遠ザカリ得ルセケンノヨウムニトホ 酸性泉 酸味サンケイ ガハヒ

七十三 各種カクシユ 上野ノ草津 下野ノ那須 酸性泉 酸味サンケイ ガハヒ

有^アシ^マテ^モツ^ツ 皮膚病^ヒヤ^マノ^ノ 痛風^ツホ^ノフ^シガイ^タム^ム 特效^トノ^キメ^ン 伊香保^イカ^ホ 攝津^セツ^ツノ^ノ

有^ア馬^マ鐵^テ泉^{セン} 弱^ロキ^キ 貧^ヒ血^{ケツ} 適^タシ^シ 相^サ摸^ガノ^ノ箱^ハ根^ネ 蘆^ア湯^{セン} 硫^ユ

黃^オ濁^ニリ^リ 臭^シ氣^キ 著^イシ^シキ^キ効^コ 伊^イ豆^ヅノ^ノ熱^ア海^ダ 氣^キ候^コ 變^ヘ化^カリ^リ

冬^ト日^{ジツ} 七^シ十^{ジュ}四^シ 浴^{ヨク}客^{カク}イ^ル人^ニハ 泉^{セン}質^{シツ}ヨ^シ 鹽^{エン}類^{ライ}泉^{セン} 腸^チ胃^イノ^ノ健^{ケン}

ヤ^ヤカ^カシ^シヤ^ヤツ^ツ 炭^{タン}酸^{サン}泉^{セン} 單^{タン}純^{ジュン}泉^{セン} 種^{シュ}類^{ライ} 伊^イ豫^ヨノ^ノ道^ダ後^ゴ

第二十二課 此課ニハウツリヤマヒチヨケルコトガカイテアル

七^シ十^{ジュ}五^ゴ 傳^{デン}染^{セン}病^{ビョウ} 豫^ヨ防^{ボウ} 赤^{セキ}痢^リ 天^{テン}然^{ネン}痘^{トウ} 肺^{ハイ}結^{ケツ}核^{カク} 流^リ行^{コウ}ル^ルハ^ヤ 恐^{コン}ル

ベ^ベキ^キオ^オツ^ツレ^レネ^ネ 清^{セイ}潔^{ケツ}イ^イキ^キレ^レ 必^{ヒツ}要^{ヨウ}セ^セツ^ツイ^イ 病^{ビョウ}毒^{ドク}ノ^ノド^ドク^ク 殖^{シヨク}ユ^ユル^ル 惡^{アク}疫^{エキ}リ^リヤ^ヤマ^マヒ^ヒ 七^シ十^{ジュ}六^{ロク}

夏^カ日^{ジツ}ノ^ノナ^ナツ^ツ 脂^アコ^コキ^キ 果^{クワ}物^{ブツ}モ^モノ^ノダ^ダ 種^{シュ}痘^{トウ}ウ^ウル^ル 牛^ギ痘^{トウ}ノ^ノソ^ソノ^ノホ^ホ 赤^{セキ}兒^ジゴ^ゴア^アカ^カ 往^{オウ}々^{ゾク}々^{ゾク}マ^マ

危^キ險^{ケン}ノ^ノケ^ケン^ン 七^シ十^{ジュ}七^{シチ} 罹^カリ^リ 嚴^{キビ}シ^シク^ク 消^{シヨウ}毒^{ドク}ケ^ケス^ス 該^{ガイ}患^{カン}者^{シャ}ノ^ノソ^ソノ^ノニ^ニン^ン 痰^{タン}唾^{ツバ} 七^{シチ}

十^{ジュウ}八^{ハチ} 痰^{タン}壺^コツ^ツパ^パチ^チハ^ハ 暑^{アツ}ニ^ニ苦^クミ^ミテ^テ 儘^マ損^{ソク} 不^フ幸^{コウ}ハ^ハセ^セ 直^{ダイ}屈^{クツ}ケ^ケ

第二十四課 此課ニハトリノ、ゴリンノコトガカイテアル

七^{シチ}十^{ジュウ}九^ク 養^{ヨウ}雞^{ケイ}チ^チカ^カリ^リ 飼^カヘ^ヘリ^リ 雄^{ユウ}雞^{ケイ}ノ^ノオ^オン^ン 曉^アを^を告^ツぐ^ぐシ^シラ^ラセ^セル^ル ね^ねぐ^ぐら^らノ^ノス^ス 餌^エ

青^{アヲ}々^ク 八^{ハチ}十^{ジュウ} 生^オひ^ヒ茂^{シゲ}り^リ っ^っら^らく^く 快^{クワイ}け^けれ^れば^ば 親^{オヤ}鳥^{トリ}ノ^ノオ^オリ^リチ^チ

か^かひ^ひイ^イリ^リマ^マ 驚^{アホ}ル^ル 朝^{アサ}夕^{ユフ}ノ^ノ暇^{イタマ}ノ^ノヒ^ヒマ^マン^ン 世^セ話^ワ 滋^シ養^{ヨウ}分^{ブン}ヒ^ヒア^アン^ン 珍^{チン}重^{ジュウ} 上^{ジョウ}品^{ピン}

第二十五課 此課ニハ、胃ノフト手足ナドノ争ヒノタトヘバナシガ、カイテアル

八^{ハチ}十^{ジュウ}一^{イチ} 四^シ肢^シテ^テア^ア 五^ゴ官^{クワン}ハ^ハナ^ナ、^メク^クチ^チ、 胃^イノ^ノ腑^フ 晝^{チユ}夜^ヤヒ^ヒル^ル っ^っら^らと^とず^ずや^や 幸^{コウ}

食^{シヨク}堂^{ドウ}ノ^ノタ^タベ^ベモ^モノ^ノチ^チ、^タ 八^{ハチ}十^{ジュウ}二^ニ 回^{クワ}み^ミ 全^{ゼン}身^{シン}ノ^ノカ^カラ^ラダ^ダ 衰^{オト}へ^へル^ル 驚^{オドロ}き^き 心^{シン}配^{バイ} 過^{アヤ}シ^シ 幸^{コウ}

と^とり^リつ^つら^らん^ん 八^{ハチ}十^{ジュウ}三^{サン} 徒^イに^ニム^ムダ^ダ 血^{ケツ}管^{クワン}ノ^ノメ^メク^ク 無^ム益^{エキ}ノ^ノ企^{クハ}ム^ムダ^ダノ^ノガ^ガ 八^{ハチ}十^{ジュウ}四^シ 謝^{シヤ}

福^{フク}ハ^ハセ^セ 諭^{ゴン}シ^シカ^カセ^セル^ル 感^{カン}心^{シン} か^かろ^ろく^くし^しき^きふ^ふる^るま^まひ^ひ 八^{ハチ}十^{ジュウ}四^シ 謝^{シヤ}

し
テ
ロ
ビ

◎ 卷之二

第一課

此課ニハ、我等が生レタ土地
ヲ愛スルコトガ、カイテアル

一 郷土

いまし

親戚

朋友

先祖

墓

伴はれて

近

隣

知人

釣

佛

父

由

二 大人

豪傑

事

業家

傳

古跡

由

秀

待

三 繁榮

生業

昔

念

三 あらん

他日

繁榮

待

四 昔

なつかし

姿

迎

なつかし

姿

迎

片

時

忘

る

べき

ス

第二課

此課ニハ、東京ノアリ
サマガ、カイテアル

帝都

臨

平

野

接

隅

田

川

市

幕府

宮

城

中

央

宮

殿

隱

見

省

議

院

兵

營

各

國

公

使

煉

瓦

造

織

る

が

如

し

電

辨

ず

べ

く

電

燈

瓦

斯

燈

浅

草

芝

九

段

向

島

八

飛

觀

音

堂

い

は

ん

か

た

な

聯

隊

代

表

軍

旗

十

六

條

一

致

行

動

畏

く

も

大

元

演

習

九

旗

手

授

け

步

兵

サ

ル

御

シ

キ

演

習

九

旗

一

致

行

動

畏

く

も

大

元

受^{シユ}申^スウケ **十一** 例^{レイ}タリシキ **精神**^{セイシン}シヒ **赴**^{オホム}ク **勅命**^{チヨクメイ}ノリ **捧**^サげサシア **奪**^{ウバ}はる

敗^{ヤブ}れたる^{タル} **十二** **證**^{シヨウ}する^{ダテ} **恥辱**^{チヨク}ハ

第四課 此課ニハ、敵ハ幾萬ノ軍歌ガ、カイテアル

十三 **烏合**^{ウガ}ツマリ **勢**^{セイ}なる^ゾ **味方**^{ミカタ} **道理**^{ダウリ} **邪**^{ジャ}は^セれ^イ正^{テイ}にか^チち

が^ガた^タく^ク **一徹**^{イツテツ} **十四** **な**^ナど^ドて^テ **十五** **な**^ナは^ハち^チそ^ソ **斃**^{ダフ}る

は^ハち^チな^ナせ^セそ **第五課** 此課ニハ、祝日ノ、イ

祝日^{シユクジツ} **佳節**^{カセツ} **紀元節**^{キゲンセツ} **十六** **賀正**^{ガセイ} **正殿**^{セイデン} **群臣**^{グンシン}

拜賀^{ハイガ} **天壤無窮**^{テンジョウムキウ} **皇運**^{コウウン} **天日嗣**^{アマツヒツギ} **御誕生**^{ミタマシ}

十七 **典**^{テン} **神樂**^{カグラ} **奏**^{ソウ}せ^シ **祝宴**^{シユクエン} **御誕生**^{ミタマシ}

聖壽^{セイジュ} **萬歲**^{マンサイ} **佳辰**^{カシン} **賢所**^{カシココロ} **十八** **朝廷**^{テイテイ} **臣民**^{シンミン}

聖意^{セイイ} **奉戴**^{ホウタイ} **全家**^{ゼンカ} **祝意**^{シユクイ}

舊來^{キウライ} **五節句**^{ゴセツク} **第六課** 此課ニハ、米ノツカヒミチ、及、

十九 **朝鮮**^{チョウセン} **歐米**^{オウベイ} **概**^{オホム} **供給**^{キヨウキョウ} **仰**^{オウ} **豊凶**^{ホウキョウ}

用途^{ヨウヨ} **二十** **常食**^{ジョウシヨク} **造酒**^{ゾウシュ} **原料**^{ゲンリョウ} **糊**^コ **品位**^{ヒンビ}

見^{ケン} **彼我**^{ヒガ} **廻米問屋**^{クワイマイモンヤ} **玄米**^{ゲンマイ} **品評會**^{ヒンビョウクワイ} **二十**

一 **品質**^{ヒンシツ} **混入**^{コンニユ} **色澤**^{シヨクダク} **粒形**^{リクゲイ} **堅筋**^{ケンジン} **均**^{キン} **乾燥**^{カンソウ} **保**^ホ

存ツタモ **二十二** 調製チヨウセイ アコシラヘ 精良セイリョウ 上ト 倭造ワラツク 取扱トリアツカヒ

第七課 此課ニハ、生絲ノセイ
シカタガ、イテアル

額ガク 上ノレリマテニ、ナ 合衆國ガツンニ **二十三** 佛蘭西フラン 伊太利イタリ 地方チホ 器械キカク

絲イト 座繰絲ザクシ 區別クベツ 婦女フジョ 手輕テガ 蒸氣ジョウキ 製絲場セイシヤウ **二十四** 業ギョウニツ

カシムヤラセル 順序ジュン 鍋ナベ **二十五** 陶器トウキ 釦ボタノ孔アナ 離ハナシ一カセナ、

一束イツク 一括イツク 金巾カナキン 油紙アブラガミ 麻布マフ 筵シマ 包ツツ 荷作ニツク

二十六 良否リョウヒ アヨシ

第八課 此課ニハ、我國テアキル、オリ
モノ、コトガ、カイテアル

太古ダイコ 布帛フハク 雄畧ユウリヤク 天皇テンノウ 參用サンヨウ 元明天皇ゲンメイテンノウ 挑文師チョウモンシ 紋様モンヤウ

二十七 遣はしツカ 俄ニハカ 戰國センゴク 豐臣秀吉トヨトミヒデヨシ 一統イツトウ 隆盛リョウセイを致イダシ

サカンナルアリ
サマナキタシテ **現今** **二十八** 交織マゼオリ 伊勢崎織イセサキオリ 結城紬ユキツムギ 眞岡木綿マカキモウ 足アジ

利織カマオリ 愛媛エヒメ **二十九** 縞紺シマコン 甲斐カハ 羽前ハゼンノ米澤織コメザオリ 越後縮エチゴチヂミ 近江アハ

濱縮緬ハマチリ 博多織ハカタオリ 琉球リュウキョウ

第九課 此課ニハ、オリモノヲ注文スル手
紙及ソノヘンシガ、カイテアル

秋冷シユレイ 繁昌ハンショウ 每度マイド 御手數オテスズ 裕用アハセヨウ **三十** 染絲ソメイト 繰カ 早速サツソク

注文チュウモン 御壯榮ゴソウエイ 日限ニチゲン

第十課 此課ニハ、女ノコ、ロウ
ベキコトガ、カイテアル

女德メノトク **三十一** 婦德フトク 婦言フコトバ 婦容フヨウ 婦功フコウ 潔イサギくレキ

和順ワジュン 詞コトバ 詐イツはるコト 似ニげなき 惡言アクゲン 職分シヨクブン **三十二** 縫物ヌイモノ

紡ツムぎ 調トウへラコシ 戯ダハれ 笑ワラふ 舅シヤウ 姑シヤウメ 賓客ヒンカク 職分シヨクブン **三十三** すと

みて
リテ

第十一課

此課ニハ、上毛野形名ノ妻ノ、イ
サマシキハナシガ、カイテアル

上毛野の形名 舒明天皇 蝦夷 智略 官軍 城を

かたくし 向ひ城をかまへ 園みマキ おちりせぬ

力を失ひて 武名 君が身に及びて 先祖 大任 汚

海外 武名 君が身に及びて 先祖 大任 汚

末代 及 討死 候はじスマイ 大刀をはき 率ゐて

十張 三十六 女房あまたして 弓弦 鋒 率ゐて

十七 や、シスコ 賊徒 忠貞 武略

第十二課

此課ニハ、郵便ト電信ト、ニ、
ツキテノコトガ、カイテアル

三十八 郵便 信書を通ずる 通信 制度 官業

線路 集配人 局 配達 方面 加入 函 投入

手續 都會 名邑 電氣 賴信紙 誤る 發信

依頼 電報 受信人

第十三課

此課ニハ、カハセニツキテノ、
ニ、ロエガ、カイテアル

四二 爲換 隔リ 送金 容易 安全 銀行 會社

願書 宿所 捺印 記名 調印 現

金 簡單 出目某 代官 租金 賣揚上納

増加ゾカフエ

第十四課

此課ニハ、注文シタホンチウケトツテ、ソノ代チオクル手紙ト、ソノウケトリト、ガ、カイテアル

拜呈ハイゼイ申上シメテケル

落手ラクテトル

郵税ユウゼイユル

四〇六

普及舍フキイシヤ

第十五課

此課ニハ、海ノ話

四一七

帆ホかけ船フネ

彼方カナタ此方コナタ

うるはしかるべしアリマセウ、デ、

され

どクサウダクレド

雲クモ亂ミダれて

大浪オホナミ巖イハ

寄ヨせてはかへす

波ナミヒキカヘスナミ

逆サカラ

ひ 四一八

潜水器センスイキ水ミヅノナカチク

面積メンセキヒロサ

方哩ホーマイルル四方

畫エガける

内ナイ

海カイウチ

港ミナト 四一九

氷海ヒヨカイ水ミヅリノ

五〇〇

高低コウダイ一イツならず

マツテチラヌ

山嶽サンガクマ

溪谷ケイコクニ

原野ゲンヤヲ

鯨クジラ 鯛タイ 鯉カサツキ 牡蠣カキ 蛤ハマグリ

海綿カイメン 珊瑚サンゴ 海苔カイモ 昆布コンブ 荒布アラフ

和布ワカメ 生存サイゾンヘテ、ナル

繁殖ハンシヨクル

熱帶地方ネツタイチ地チニヨリキノアツキ土

一 無數ムスウサ

珊瑚蟲サンゴムシ グル、ムシ

雜生ザツセイキテナル

五

花園クラエンタケ

五

第十六課

此課ニハ、北海道ノ、冬ノアリサマガ、カイテアル

北海道ホクカイド

延ノび

地勢チセイヨリス

五〇二

沖繩オキナホ 胡瓜キウキ 茄子ナズナ

マサニ

木

蔭カゲ ナツカシキ

冬枯フユガレ 五〇三

石狩岳イシカリダケ トザシ

銀世界ギンセカイク

五〇四

俄桃コハカ 梨ナシ 李スモ

木履ボクリ 櫛シ 疾ハヤク

一快事イツクワイジ ヒトツノ、オモ

五〇四

俄桃コハカ 梨ナシ 李スモ

オモヒ及カバヌ

第十七課

此課ニハ、熊ノ話

猛獸モウジュ 五〇五

喉ノド 下部カブ

新月形シンゲツケイキナリ

白紋ハクモンシロキ

輪ワ 罷シクマ 後ゴ

脚キヤク アシ

茶褐色チャカクシヨクヲ

帶オビビ

一般イツパンニ

マ

五〇六

河邊カハ

淺瀨アサセ 窺ウカウヒ

前脚ゼンキヤク アシ

貫ツラヌキ

肩カダ 獵カル

危アキフキ

銃シュ 彈丸ダンガン 急キユ

所シヨカラダノウチア、イチバ
ンタイセツノ、バシヨ

疵口キズグチ

五二七

ヤニハニセズニク

裂ク

倒レ

檢シラシ

五二八

有無ナリ

認ムレバツケレバ

捨テ敷物

熊膽

藥品ニナル

心地コチモチ、ロ

禍ヲ免ルワザヘヒノガレ、

第十八課

此課ニハ、山林ノ利エ
キノ事ガ、カイテアル

五二九

時トキち

殖林シヨクリンフヤシ、チ、

發達ハツダツスル

なほざりヤリ

目前モクゼンノ利害リキヘノソ

永遠エイエンナガク

著眼チャクガンケル

志ココロして

六三〇

杉

檜

松

樅

桐

松マツ適不アキフ適アキツ

適當アキトチヨドソ

用途ヨウトミチカヒ

濕氣シツキシメ

谷間タニマ

杉丸

太良材リョウザイイモク

六三一

と、のふるク、スル

苔

支へ

水量スイリヨカサ

六三二

二ニ洪水コウスイミズ

堤ツツミ

田圃テンボタハ

はかるべからざるカリシラレナイ

出沒シュツボツグレタリ

忘ワス

らざるナラズナラヌ

青緑セイリョク滴るばかり

らるべしフラスレテシマフテアラウ

たけなはリサカ

紅葉コイモミ

谿水タニミヅにのぞめるタニノミヅ、チ、ミオロシテチル

第十九課

此課ニハ、紀ノ國屋文左衛門ト云
フ、商人ノコトガ、カイテアル

六三三

紀文

八町堀

一夕イツセキヨアル

本郷丸山

類焼ルイショウ火カ、ラテタ

意とする

ことなくキニカケナンデ

最中サイチュウ旅支度

信州シンシュウノシナ

木曾

六三四

つくやツクヤスグニ

高價コウカイネ

屈指クツシチリ

六三五

機を見るにキミとときニ、スバヤイ

第二十課

此課ニハ、藤原ト云フ家ノ、
代々ノコトガ、カイテアル

藤原氏フヂハラシ

中臣鎌足

天智天皇

輔タスけ

蘇我ソゴノ入鹿

法律ホウリツナラズマ

制定セイテイムル

よみしオホメナサレテ

大臣ダイジン

姓セイウシヤ

六三六

攝政セツセイテマツリゴトナト

關白クワンハクツカル、ヤクメ

公卿コウケイヤクニン

列レツシナリ

邸宅テイタクシキ

美ミをきはめ

道長ミチナガ六三七

シクシク

朝政チヨウセイにあづかりて

チヨウテイノ、マツリゴト

権力ケンリキホヒ

道長ミチナガ

六三七

華 サカエテ、イキ ほしいまゝにし ニシマ、 望月 十五 得意 オモフマ 知るべき オモ

威權 イケン 專にし ニシマ、 六八 一 技能 キギ 耽り イレテ めしき

歌舞音曲 カブオンキョク 兵馬の備 ヘイバノビ 地方の政事 チホウノセイジ 政權 セイケン 武

將門 マサカド むほん チヨロテイニ、 役に エキ 日に傾きて ヒニカクアテ 宗族 ソウゾク 宗族 アノケ、ト

家 イクサノ、大シ 第二十一課 此課ニハ、源氏ト平家ト、一ノ谷テ、 實權 ジツケン 移り ウツリ 保元 ホウゲン 握り ニギ 清盛以下 セイセイヨリカ 宗族 ソウゾク

六九 一 實權 ジツケン 移り ウツリ 保元 ホウゲン 握り ニギ 清盛以下 セイセイヨリカ 宗族 ソウゾク

顯官 ケンクワン 七二 一 拜し ハイ 至らざる所 トコロ 至れり イタ 一門 イチモン 讚岐 サンシ 八

驕る オウ さしも ドニホ 運命 ウンメイ 義仲 ヨシナカ 襲はれ オソ 一門 イチモン 讚岐 サンシ 八

島 シマ 機に乗じて ツケゴンド 山陽 サンヨウ 率る ヒキ 安徳天皇 アノトクテンノウ 奉じ ホウ 申す ウツレ 七二 一

追討 ツイト 生田 イクタ 後 ウシロ 嶮所 ケンショ 走獸 ソウジュウ 騎馬 キバ 虚をつかんと キヨ 思

ひ ユダシ、チ、シテ、チルト 七二 一 馳せ ハ 夢 ユメ 狼狽 ロウバイ 大方 オホカタ ならず タイナイ

剩 アマツサヘ 館 ヤカ 火を放ち ヒヲハナ たるに ケタニ 烈しく レツク 猛火 モウカ 混雑 コンザツ

七三 一 熊谷直實 クマガヘナホ 平山季重 ヒラヤマスエシゲ 争ひ アラソ ひふせぐ チカラ に力なく アセカイキホ 取

るものも取りあへず モツベキモノ 濱邊 ハマヘ 逃れたり ニゲ 第二十二課 此課ニハ、ワカラヌコトヲ、キ、ニナル

餘寒 ヨカン 壯健 ソウケン 勉強 ベンキョウ 左の二箇條 サノニカノジョウ 七四 一 一舉 イツキョ 七

なるか ナルカ 何歳なり ナンサイナリ しか アツタカ 復啓 フクケイ 問合 トヒアヒ 回答 クワイダウ 明曆 メイレキ 七

家綱 イヘツナ 調べ ツツ 書名等 ショメイナド 申述 マウシ ぶへく マセウ 第二十三課 此課ニハ、イマシメテ、マモルベキコ

第二十三課 トガ、金魚ニダトヘテ、カイテアル 第二十四課 三十三

第二十二課 此課ニハ、源氏ト平家ト、一ノ谷テ、 實權 ジツケン 移り ウツリ 保元 ホウゲン 握り ニギ 清盛以下 セイセイヨリカ 宗族 ソウゾク

六九 一 實權 ジツケン 移り ウツリ 保元 ホウゲン 握り ニギ 清盛以下 セイセイヨリカ 宗族 ソウゾク

顯官 ケンクワン 七二 一 拜し ハイ 至らざる所 トコロ 至れり イタ 一門 イチモン 讚岐 サンシ 八

驕る オウ さしも ドニホ 運命 ウンメイ 義仲 ヨシナカ 襲はれ オソ 一門 イチモン 讚岐 サンシ 八

島 シマ 機に乗じて ツケゴンド 山陽 サンヨウ 率る ヒキ 安徳天皇 アノトクテンノウ 奉じ ホウ 申す ウツレ 七二 一

追討 ツイト 生田 イクタ 後 ウシロ 嶮所 ケンショ 走獸 ソウジュウ 騎馬 キバ 虚をつかんと キヨ 思

ひ ユダシ、チ、シテ、チルト 七二 一 馳せ ハ 夢 ユメ 狼狽 ロウバイ 大方 オホカタ ならず タイナイ

三正サンビキ 富有フユウ 七二六シニロク 歎ツク 嬉しげウレシ にソレシ 鐵網カチアミ 格子カウシ 七二七シニシチ 誠マコト

すぎでスギデ 危難キナン ナンギ 了解リカエ せざるが如ゴト く 傍カクハナ 七二八シニハチ さ

もイカ 移ウツ らんとして 泳オヨ ぎ 實地ジツチ に 七二九シニク 相談ソウダン

斑マダラ 妨サマダシ 正直シヨウジキ 意味イミ ケツ 厚意コウイ セツ 疑ウタガ はず 諫イサ め 終ツイ に 聽キ かざりし

八二ハニ 愚チロカ さ 嘲アザケ り 棲ス める 鯉コヒ 餌エ あさり 啄ツイ み

第二十四課

此課ニハ、新井白石ト云フ人ガ、ヨクベ

八二ハニ 新井白石アヲハクセキ 寛文カンブン 土屋利直ツチヤトシチホ 侯コウ 上總カヅサ 課クラ を立タ 立てられて

ト、チ、キ 行ギョウ 草ソウ 短ミジカ く 満ミ たざるに 度タビ 度ク 竹チク 椽エン 八三ハサン 睡ネム の

催モト して 二桶フタケ 八三ハサン 被カフ りて かたの如ゴト く 庭訓テイキン 往來オウライ

(鎌倉時代ニ、デキタル) 往復文キョフブン ノ、本ホン ノ名ナ 八四ハシ 冊サツ になして 贈答ゾウダツ トリ

第二十五課

此課ニハ、學問ヲスルニツキテ

八五ハゴ 心ココロ を專モト らにして 勉勵ベンレイ ム 果ハタ して 幾許イクバク ぞや

健スコヤ かに 豊ユタカ 豊ホ 八六ハロク 道ミチ ならぬ 比ヒ にあらざ

るなり 愉快ユクアイ ロク 之コレ にしかん 前途ゼント サキ

高等小學 國語讀本字引 第一學年用終

明治三十四年三月廿九日印刷
明治三十四年四月一日發行

定價金六錢

編纂者

長野縣諏訪郡中洲村二百六十七番地
伊藤光平

發行者

東京市神田區裏神保町六番地
一柳直人

發賣所

東京市神田區裏神保町六番地
上原書店

印刷者

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
佐久間衡治

印刷所

株式會社 秀英舍工場



大賣捌

長野市大門町
上田原町
佐久野澤町
松本本町二丁目

西澤喜太郎
西澤支店
西澤支店
高美書店

信州上諏訪町
同
上州前橋
武州鴻ノ巣

日新堂書店
秦三光堂
煥乎堂書店
長島爲一郎

21
36

肆書捌賣

飯田	平野	同	上諏訪	同	上田	同	長野	同	同	同	同	松本
皆川半四郎	伊東三省堂	宮坂文弘堂	堀田盛文堂	小宮山儀市	小林佐平治	荻原朝陽館	増屋書店	明倫堂書店	鶴林堂書店	松榮堂書店	水琴堂書店	教益株式會社
同	小諸	福島	池田	同	大町	片丘	洗馬	木下	赤穂	高遠	伊那	飯田
中屋七郎兵衛	小山佐傳次	藤森書店	平林商會	松本正信	丸屋廣吉	永原高明堂	都筑文明堂	笠原開明堂	氣賀澤書店	矢島民也	福澤文星堂	今村書房
吉田	飯山	須坂	松代	同	稻荷山	望月	高野	野澤	同	同	岩村田	小諸
長田忠之助	芳潤堂	山下條三郎	共和堂書店	寺澤鶴吉	小出喜作	青木泰藏	高見澤和市	岩下袋婆吉	昇進堂	大坂屋浮藏	文盛館	鹽川清之助

高等國語讀本字引 第二學年用

宮下貞象 閱
伊藤光平 編

◎卷之三

第一課

此課ニハ、恐レ多クモ、今上天皇陛下ノ御コトガラガ、ガイテアル

一 かけまくもかしこけれど恐レ多イ、クレドモ

しろしめすオンチサメ、ナサル、

教化ユウイクラシ

内外事多き時チノコトオホクニ、ウチヤ、イコクトノアヒダニ、ゴタクノ、多カツタトキ

二 文武の官制ブンブウノクワンセイ、文官武官ノヤ、文ハ政事武ハクノ、キマリ、兵事ヲ云フ

四海統一の實を擧げさせ給へりシカイトウイツツノジツ、ホントトニ、天トチニ、ナサレマシタ

萬機マンキ、スベテノ、マツリゴト 公論コウロン

セケン、一ド一テ、ヨイトイフコト

經營ケイエイ、ムル

孝敬コウケイ、ソチ、ウヤマフ

歴代レキダイ、ゴダイ

皇靈コウレイ、ミタ

三 仁愛ニンアイ、レミ

烈士レツシ、ユキノチ

義僕ギボク、コイニ

旌はしテイハシ

史臣シシン、クヤクニ

幼學綱要ユウガクコウヤウ

編しヘンシ

勅語 四 儉約 省き 軍國の費用 救恤 火
 災 罹りて 赤坂 離宮 煩はす 諭し 仁徳天皇
 事蹟 此課ニハ、マエノ、ツ
 此課ニハ、マエノ、ツ
 此課ニハ、マエノ、ツ

第一課

親ら 五 統べ 狭き 六 事を視たまひき 氣象 た
 ぐひ 精勵 七 御製 拜誦 聖慮 忝きに
 むせびきて 緩急 義勇公に奉じ 所
 ひ 第二課 此課ニハ、皇后陛下ノ、
 賢明 慈仁 八 配し 内政 華族女學校 女子高等

第二課

師範學校 行啓 九 生産の業 地震 つなみ 岐阜 醫員
 看護婦 負傷者 貴婦人 窮民 清國
 事ありて 十 戦役 勞をあげはれみ 慰め 感泣
 十一 大統

第四課

品位 容貌 たちある 十二 たしなみ 著方 不作
 法 慢心 十三 保つ 粗末 深切 謙遜 基 丁寧 頭
 髪 整へ 起居 授受 挨拶 給仕 十四 諂諛 柔弱
 謂にあらず

第五課 此課ニハ、女ノヤク
メガ、カイテアル

十五 職分シヨクブン 十六 交際コウサイ 十七 牝雞ヒメトリの晨アサを告ツぐるサ、トキチツケル

背ソムけり 大體ダイタイマシ 十八 完マツタりす

第六課 此課ニハ、蠶サナチカフ
コトガ、カイテアル

便益ベンエキリエキ、春蠶ハルサナ 夏蠶ナツサナ 秋蠶アキサナ 十九 刻キザみ 柔ヤハラかさ 桑葉ソノハノハ 粗アラく 二

十 棚タナ 蠶座サナザ 清潔セイセツイ 一眠イチミン 脱ヌげて 體色タイシヨクノカラダ 半透明ハントウメイキトホル 上ジョウ簇ソク

損ソンを招マネくスルソ、チ、 二一 大部ダイブソノ、ウケ 絶ダゆる 二二 蠶卵紙サナランコダ 加減カケン 掃除ソウジ

すスキメ 二二 獎勵ショウレイマスケ 品位ヒンガシナ 良否リョウヒアジ、難易ナンイヤカイト、判ハン

第七課 此課ニハ、ワタト、モメンノ
布ト、ノコトガ、カイテアル

棉花メンワハナ 棉草ワタ 二四 收穫シュウワクアゲ 穀カブ 紡績ホウセキゲツム 必要ヒツヨクラメコト、ナ 大概ダイガイ 硬カク

く 紡ツムぐ 印度イン 二五 輸入シュヨクイカヒ 産額サンゲツダカ 減少ゲンショウルハ 二六 綿縮チヂミ 綿メン

縹シユ子ス 雲齋織ウンサイオリ 更紗サラ 寒冷紗カンレイシヤ 綿天鷲絨メンテンシユ 耐タふる 二七 趣旨シュシユ

叶カナひ 彈力ダンリキチカラ

第八課 此課ニハ、蠶室サナシノテキアガリシチ、祝イハヒフ
手紙ト、ソノヘンウトガカイテアル

落成ラクセキガケル 一寸イチソウ 二八 位置イシヨシ 都合ツグフ 具合グイガフ 考案コウアンカンガ 結構ケツコウ 進呈シンテイ

敬具ケイグテ申ス 招待ソウタイクマホ せまりツマ 工事コウジン

第九課 此課ニハ、綿羊ワタヒツノコ
トガ、カイテアル

二十九 綿羊ワタヒツメンラシヤニテラシヤチナル 一イツ對ツイソノホニ 蹄アイメヒツ 齒ハ 密生ミツセイテスキマナク、三

十 刈カり採トり 羅紗ワサ 三一 滋養シヨウナヒシ 効コウノイ ナメシテテ、ヤアラカニシテ

袋物 効用ノコト 三十二 牧場 集散

第十課 此課ニハ、川ヤ海テアル

三十三 近海 好魚場 收益 三重 神奈川 山口 河

湖池沼 三十四 肺臍 獵虎 鰻 烏賊 鮑 海參 鱒 鮭 鰻

鯉魚 海苔 昆布 石花菜 眞珠 珊瑚 食鹽 三十五 沿岸 漁獵 仕

組 三十六 遠洋 瀬戸内海 降雨 播磨 赤穂 齋田 所得 漁獵 仕

組 三十八 噴泉 壯觀を呈す 肥前 鯨獵 三十九

第十一課 此課ニハ、鯨ノハ

鯨 胸 肺部 肺臟 扁平 潜み 凝結 飛散

三十八 噴泉 壯觀を呈す 肥前 鯨獵 三十九

携へ 譬ふ 往々 覆へ 大砲 撃ち 密に

親愛の情ノコト 牝牡 悲み

第十二課 此課ニハ、タビチスル、タノ

四一 他郷 名勝 探り 佳境 すがくし

四二 いひ知らぬ 靈境 馴れ 風土

あるは 踏み 尋ね 勝 さまよひ 萬戸侯

四三 うべなるかな

第十三課 此課ニハ、大和ノ名所ヲ、見アルク、

四四 奈良市 南都 平城 三笠山 舊跡 東大寺 春日神社

猿澤ノ池 薬師寺 法隆寺 顯はる 奈良漬 晒 根來塗 笠置

山 四四五 總稱ノスベテ 初瀬 長谷寺 多武ノ峰 談山神社 參詣

畔 四五六 行宮天皇陛下ノカ 櫻花 葛 榎原神社 櫻井 巡遊アソブ 終

ふ 交通カヒ 四一七 戻る

第二四課 此課ニハ、ルスミマヒノ手紙 トソノヘンシガカイテアル

伺ウカひ 失禮 留守見舞 不備 四一八 畿内 遊覽アツン 寫眞 不在メチラ

是非

第十五課 此課ニハ、道ノコ トガ、カイテアル

街道 四一九 徑 小路 幅狭く 自在サイ 東海道 中山道 甲州

奥羽 相摸 遠江 三河 沿ツひ 近江 經ヘて 五〇 維新ゴ 大

磯濱松 岡崎 桑名 四日市 大津 所在コルト 五〇一 美濃 電車

軌道 運輸ハ 現時マ 仙臺 青森 羽後 西端ハ 五十二 山

陽 信越 北越 兩毛 甲武 總武 房總 參宮 關西 文明ノ 利器ヒ ヲガ

ケタニヨリテ、デキ タ、ツゴーヨキモノ 五十三 豈アナカク

第十六課 此課ニハ、フネノミチノ、 コトガ、カイテアル

海路 港灣イリウミ 五港ニヒカタ、ハコダテ、チイフ 赤間 關 橫濱 占めモツテ

船舶 五十四 航路フネノ、 陸前 荻ノ濱 函館 遠州灘ラキトコロチ云フ

五十五 讚岐 多度津 備後 尾ノ道 寄り 博多 五十六 擧アぐる

に暇イあらずフニヒマガナイ 直行ドコヘモヨラズ 歐洲ツバロ 運賃ダチン 非常ヘン

第十七課 此課ニハ、イクサアネノ ハナシガカイテアル

五十七 軍艦アネ、 海防ヨーシツン、 供ヘシソナ 保護スグル、タ 構造カダ 甲

鐵艦

鐵

鍛鐵

艦側

蓋

五十八

櫓

運轉

五十九

射砲ノ術

火藥

彈丸

日ヲ逐ヒテ

任務

戰鬥艦

巡洋艦

水雷驅逐艦

練習艦

六十

孰れも

敵艦

砲

擊大砲

砲臺

破碎

敷島

六十一

掌ル

淺間

壞リ

練習

居留

第十八課

此課ニハ、海水浴ノ、コ

六十二

盛夏

モノウシ

稠キ

一層

風邪ニ侵サル

ルカセテ

六十三

呼吸器病

貝殻

遠淺

六十四

網しやつ

縁

麥藁帽子

遊泳

波打際

疲ヲ感ジ

寢乾

ケル布片

六十五

游浴

六十六

有害

ヨリナ

第十九課

此課ニハ海水浴ノアリサマガ、

もろ手

六十七

とすや

と、波

いさご

あま

隠

れ眞帆

かたほ

第二十課

此課ニハ、カラダヲモツ、

衛生

六十八

過飲

六十九

薄著

習慣

流通

便所

不潔

七十

満足

鍛ひ

散歩

遊技

柔道

擊劍

避け

強ひて

服装

七十一

傾くる

ゆるかせ

にすべけんや

オロソカニシテ、ヨカローカ、

第二十一課

此課ニハ、カマクラニ、幕府サア

蛭小島 關東東京近所ノ 征服ガハル 從弟トシ、シタ 七十二 信濃シナノ ざる程

にアイダニ、さんぜんにソイ 敗北マケテ、 後白河法皇カミチオソリ、ナサレタ、天皇陸

下チ、**七十三** 粟津 誅すツミアルモノ 壇浦 滅しぬ 乃 **七十四** 請ひ

てアゲテ 守護トナ、シハイスルヤク、 莊園社寺、又ハ貴人ナ 賴家 遊宴サカモリシテ、 耽り

レテイ **政子** 外戚母カタノ、 北條時政 手に歸したりイタニツ 廢せられヤメ

次子メノコ 實朝 嗣ツ 故ありてアヒテ、 **七十五** 絶えナク 繼ツ 泰時

時頼 施し 治績チサメ 見るべきものありホムベキコト 離れ

第二十二課 此課ニハ、死ンダコトナ、シラスル手紙

七十六 儀トコ 永々 養生テア 出棺 墓地 併せて **七十七** 天命シ

後事コトの御營オイトナミ 專一センイチ 一ダイ

第二十三課 此課ニハ、京都ノアリ

繞らし 賀茂川 明媚イヒシクナル、 **七十八** 桓武天皇 遷都ウツス、 佛

閣ラテ おもかげ 御苑ミソ 柳 姿を存せりカダチガ、 **七十九** 二條桂

修學院 嵐御室 高雄 柵尾 四條河原 圓山公園 **八十** 八坂神

社 北野神社 護王神社 寺院ラテ 著名カキ 知恩院 本願寺 金閣寺

清水寺 仁和寺 大徳寺 美術ビジュツノスベテ、ウツクシサチモツテ、人（畫ホリモノ） 金欄 模

造マネテ、 友禪染 鴨川染 **八十一** 珍重メヅラシガリテ、 陶器ヤキ 漆器シ

彫刻ホリ 細工品 精巧シヨ

第二十四課 此課ニハ、エカキト、ホリモノシトガ、

百濟 畫家キエカ 飛驒 競ヒ いどみイテア **八十二** 壁 乞コへりンダノ 閑

ぢぬタヤ 八十三 腐りクサ さげび大キナ、コエ 八十四 襖フスマ にかありけカミ
 んタノカ、 ぞかしヨソ

第二十五課 此課ニハ、狩野元信ト云フ、エ

八十五 泉州センシユ 塚サカヒ 座敷ザシキ 五間イツマ 檜ヒノ の木キ 彩色サイシキ 古法コホフ 眼元信ガンモトノブ 寓居ウキ 二ニ

碁ゴ を圍カコ むウツ、 八十六 住持ヂユウヂ 在ザイ 京キョウ 名残ナゴリ 小坊主コボウジ 八

十七 畫師エガ 腰板コシイタ 變カ へつゝカヘナ 暫シラカフ 臥フ したるネテ 鶴ツル

畫勢グロセ キホビ 凡マン ならずナミノノモ 丹青タンシヤイ 八十八 つぶやきツブヤキ 一ヒツ 肘ヒジ 伸ノ べゼン 禪師ゼンシ 一ヒツ 八十九 視ミ て

クミテ、骨トシ、紙ヒトヘチ、ハリテアカリテ透シ、又風ヲ防ク障子、今略シテ專ラ障子ト云フ、

シ、又風ヲ防ク障子、今略シテ專ラ障子ト云フ、

◎卷之四

第一課 此課ニハ、皇太子殿下ノ

一 嘉仁親王殿下 御降誕御生マシ 儲君チヨウキン 少尉シヨウイ 二

昇進シヨウシン、大勳位ダイクンイ 風采フサイ 聰明ソウメイ 孝敬コウケイ 天資テンシ 在アイ せし

三 慕ボ はせ 御伺候ゴキョウコイ すがらせられ 戦況センキョウ 資シ

格カク 雄々ユウヤ し 御稱美ゴショウメイ 文久ブンキウ 東宮トウキウ 四 學習院ガクシユウイン 御成績ゴセイセキ 感カン

和漢ワカン 外交グワイ 通ツウ ぜさせたまひ 五 侍臣シヤウチン 感カン

嘆タン 妃ヒ 節子殿下セツシノミヤノ 従一位ジュイイチ 九條道孝公クジョウミチタカノキミ 誕生タンスン 温順オンジュン

謙讓ケンジョウ ダル

第二課 此課ニハコダイゴテンノサマガ、政事ヲアケ

建武ケンブ の中興チュウキョウ 六 驕奢キョウシャ 侮アハ り 振舞フリマヒ 後醍醐天皇ゴタイゴ 憤イ らせたま

ひガイカリ元弘七コ隱岐オキ孤島コト勤王キン楠木正成ノス河内カハ

新田義貞ニッタ菊池武時キキ義兵ギ應じオ足利尊氏アシ志を翻シへしコ

投ぜりト八ハ陥れオ伯耆ハク豪族ゴ名和長ナ

儀衛ギを整へてオ夙ソ一新イ年號ネ護良親王ゴ征セイ

夷大將軍イ直義チ勳功クン録ロクしてシ記録所キ決斷所ケツ武者所ム抄セウか

力行リキ威望イ頼タカにニ

第三課 此課ニハ楠木正成、チヤコノワカレン、コトオ、ツク、タウタガ、カイテアル、

十一ユ夕まぐれユしのぶシノ涙ナミはたハ正行マいましイのたノ

まふマ十二ジ死出シの旅リ私シいにし年イニシ贈りてんオ十ジュウ

三折サン折しもあれセ五月雨サ時鳥トキ血チに泣くナ

第四課 此課ニハ、楠木正行ノ母ガ、正行チイマシメタ、コトガカイテアル、

小楠公コ延元エン湊川ミナト衆寡シュ十四ジュウとすがトにニ精忠セイ

後室ゴ子息シかねてカよりヨ思オひヒ設セけケしシ塞サがりガ替カ

りリせセきキあアへエざザりリきキせんセン方カもモなナげゲなナるル十五ジュウ袖ス

抑オへエ持チ佛堂ブツあやしアしくシギギ妻戸ツ十六ジュウ自害ジ

小腕コ梅檀ウメは二葉フよりヨ芳カしシ判官ハン遺言ユイ稚オしシ迷マふフべベしシやヤ

事コトのノさまサマ故コ判官ハン弔トはハせんセン縦タひヒ

若ワ黨カ扶フ持チしシ逆ギャク賊ゾク遺言ユイ眞似マ鞭ム懸カくるクはハかカ

十八ジュウ教訓キョウ肝キにニ銘メイしてシ童ワ眞似マ鞭ム懸カくるクはハかカ

なナきキ手テずズとトみミイイタタツツララスス、

第五課

此課ニハ山内一豊トイフ人ノ、妻ノハナシガ、カイテアル、

十九 山内一豊 織田家 安土 無雙 牽き 口惜し 奉公 鏡臺 引出

十 屋形 (身分ヨキ大名) 獨言 黄金 わらは (女ノコト) 進らす 鏡臺 引出

二十一 怨ず 悦び ことわりなり 朋輩 見參 堪へ 馬揃

天下の見物ノ、天下ハレテ 良き馬召して 朋輩 見參 堪へ 馬揃

身を起しけり

第六課

此課ニハ用事ニテ、人ヲヨビヨセル 手紙ト、ソノ返事トガ、カイテアル

前便 二十四 逗留 歸郷 迫り 修業 輕快 吉

報もがな 祈り 重體 二十五 痛心 拜顔

第七課

此課ニハ市町村ト 此課ニハ市町村ト

市町村 二十六 公共事務 監督 自治制 二

十七 共有 財産 共用 義務 權利 維持

修繕 二十八 地租 直接國稅 議員 選比 名譽職 無給

ヲ構へ 一人ト、ナリテ 治産ノ 禁ルコト、チ、トメラレル 議員 選比 名譽職 無給

ナシ金 委員

第八課

此課ニハ、郡ト、府ト、縣ト、

二十九 管内 掌り 視學 書記 分擔 行政廳

シヨク 團體 關スル 事件 議決 郡參事會 三十 選舉

エラビ、 歳入出豫算 決算報告 郡

有財産 管理 命令 權限 事項 組織

委任 イニ マカセ ラブル	三十一 臨時 ソノト キニ、	急施 イソギ テ、ト	召集 シヨ ムル	範圍 ハナ イ	處理 ツカ フ	營造物 モノ (橋ナ ドチ)	支辨 チハ ラフ	訴願 ネガ	訴訟 ウツ タ	和解 ボリ	處 ツカ フ	三十二 知事 統ス	書記官 シヨ キ	參事官 サシ ジ	視學官 シヨ ク	警部長 ケイ ブ	典獄 テン ク	典獄屬 テン ク	官 ヤク ダ	指揮 ツサ シ	分掌 ワケ テ、シ	三十三 賦課 ヘイ スル	賦課徵收方法 タテ ノ、シ カタ	三十	四 大差 チガ ヒ	第九課 此課ニハ、父母ニ孝行チツク スベキコトガ、カイテアル	人 ヤある 人が アロ ーカ、	賤 シキ ヤ	三十五 胎内 ウチ	幼稚 ナキ	晝夜 ヒル	厭 イト	ひて ヨケ ル、ヨ	抱き イダ	煩はし ワラ イ	醫 ヤシ	換り カハ	息災 メ	三十六 嫁 ヨメ	榮 サカ ユ	行く フ リ	不慮 ガオ モヒ	未 イダ	斷へず ダ	總べて ス	一生 イッ シ	の營 イ ト	三十七 厚 コ	恩 オン アツ キ	奉養 ホ ー	超えて コ	分限 アン ケン	相應 オウ イ	三十八 看病 カン ビ	醫藥 イ ヤク
------------------------	-------------------------	------------------	----------------	---------------	---------------	-------------------------	----------------	----------	---------------	----------	--------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	--------------	---------------	-----------------	-----------------------	---------------------------	----	--------------------	--------------------------------------	-----------------------------	--------------	-----------------	----------	----------	---------	-----------------	----------	----------------	---------	----------	---------	----------------	--------------	--------------	----------------	---------	----------	----------	---------------	--------------	---------------	--------------------	--------------	----------	----------------	---------------	----------------------	---------------

イシヤニ、カ、イ、ク
スリ、チノム

安堵
如何程の喜とか知る
シイカ、シレマイ、

第十課
此課ニハ、志ノシツカリシテナル、
ワカモノ、話ガカイテアル、

三十九 堅志 志ガ カ	往昔 オ ー	鼓手 コ シ	將校 シヨ ウ	酒宴 シヨ エン	侍 ヘ	り チリ テ	酌 シヤク	慰め ナグサ	杯 サイ	一杯を傾くべし 一杯ノ	辭退 シヨ タイ	四十 醫 イ	勉めて ヘ テ	氣色を損じ カホ イ	稍 シ	怒氣を含みて フク ン	言ひ放 ハナ	ちたり シモ ー	副將 フク シヨ	背く ソム	四十一 容 カダ	聲を勵まし コエ テ	嚴 ケン	命 イ キ	斬つて キ	四十二 畏れ オソ	仔細 シ ソ	歿 ボツ	生涯 シヨ ガイ	慈母 シ ボ	四 四	十三 列 マ ナ カ	第十一課 此課ニハ、朝鮮京城南大門ニテ、我兵ガ、支那兵 チヤアリタル昔ノイクサバシガ、カイテアル	四十四 文祿 ブン ロク	明 メイ	援兵 エン ペイ	鴨綠江 オ ー	小早川隆景 コ ハ	開城府 カイ シヨ	構へ カマ	宇 ウ
----------------------	--------------	--------------	---------------	----------------	--------	--------------	----------	-----------	---------	----------------	----------------	--------------	---------------	------------------	--------	-------------------	-----------	----------------	----------------	----------	----------------	------------------	---------	-------------	----------	-----------------	--------------	---------	----------------	--------------	--------	------------------------	--	-----------------------	---------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	----------	--------

喜多秀家	耳目	屍	四十五	雙なき	疾く	先陣	か
けさせし	毛利秀包	都城	碧蹄館	李如松	潮	四十六	
籠らん	立花宗茂	馳せ合せ	蹴散らして	四十七	粟屋	野	
島真先	わたりあひ	奇兵	おめき叫んで	旗本	四十		
八鞍	四方手	此課ニハ、兵タイチ、ツトム					
第十一課							
兵役	服する	常備	後備	補充	現役	豫備	四十九
此課ニハ、兵タイチ、ツトム							
第十二課							
に掲げらる	合格者	抽籤	當籤	砲兵			
大砲チ、	工兵	輜重兵	機關兵	落籤			
島嶼	壯丁	五十	勤務演習	簡閱點呼			

一	補缺	五十一	抛ちて				
第十三課							
統率	師管	小笠原島	佐渡	對島	警備隊區	五十三	師團旅
團衛	衛成に屬せしむ	護衛	近衛	選抜	徵集	來	
寇	軍港	鎮守府	管轄	五十四	横須賀	吳	佐世保丹
後	舞鶴	膽振	室蘭	五十五	擴張	充實	圖り
後	舞鶴	膽振	室蘭	五十五	擴張	充實	圖り
第十四課							
卑しき	禁じたれば	五十六	階級	橋梁	架し	從來	
五十七	銀行會社	未曾有	名古屋	醬油	五十八	薪炭	太

物 雜貨類 (コマカシイ、イロ)
 石炭 (セキタン)
 銅 (ドウ)
 摺附木 (スリツケキ)
 麥稈眞田 (マギワラサナダ)
 魚介 (イサノカイ)
 魚介 (イサノカイ)
 石油 (セキユ)

藥品 (ヤク)

奮 (フル) ひ (イキ) ホ (ヒ) テ

第十五課

此課ニハ、店開キニ人ヲヨブ手紙ト、ソノ返事トガカイテアル

五十九

時下 (トキカ) セツ

御機嫌 (ゴキケン) ケシ

拙者 (セツシャ) クシ

當地 (トチ) チコノ

傍 (カダ) ハラ

開店 (カイテン) ラキセビ

懇意 (コンイ) コハ

招待 (ショウダイ) マネ

晚餐 (バンサン) ユフ

光來 (コウライ) オイ

六十

祝賀 (シユウガ) ヒ

第十六課

此課ニハ、我國ノ航海業ノ、コトガ、カイテアル

六十一

韓國 (カンコク) センヨ

神功皇后 (シンコウクウ) コイ

征伐 (セイバツ) ヲ

巨大 (キョウダイ) オホ

御朱印船 (ゴシュインフネ) サレテ

廻 (クワイ) ヲ

伊達政宗 (イダマサムネ) ヲ

六十二

耶蘇教 (ヤソウキョウ) ヲ

嚴禁 (エンキン) キビシク

挫 (セツ) カレ

又 (マタ) ヲ

廻 (クワイ) ヲ

漕 (ソウ) フネ

勃興 (ハツキョウ) オコル

頻繁 (ヒンパン) シゲク

隻 (セキ) ヲ

六十三

濠洲 (オウシュウ) ラリスダ

六十四

盛 (セイ) ヲ

衰 (スイ) オトロヘルト

第十七課

此課ニハ、石炭ガドシテ、テキタカトイフコトガ、カイテアル

由來 (ユライ) レイ

採掘 (サイクツ) ダス

伐り (バキ) ヲ

六十五

略 (リョク) タイ

研究 (ケンキウ) ラマタ

據 (ヨ) レバ

棲息 (セイソク) ムス

濕 (シツ) ノ地 (チ) タル

繁茂 (ハンモウ) シゲ

六十六

巨 (キョウ) レル

森林 (シンリン) ハヤシ

六十七

埋没 (マイボツ) ヲ

地殼 (チカク) 外地 (ガイ) ノ

容積 (ヨウセキ) サキ

縮小 (シュウショウ) シ

クスベ

漆黒 (シツクワク) グマツ

堅牢 (ケンロウ) イカダ

化 (カ) シル

木 (キ) ヲ

理 (リ) メク

現 (ゲン) レ

第十八課

此課ニハ、ヤシノ木ノコトガ、カイテアル

椰子樹 (ヤシノキ) シユ

棕櫚 (シュロ) ヲ

六十八

圓筒狀 (エントウジョウ) ノ

叢生 (ソウセイ) テ

單子葉植物 (タンシヨウブツ) (種子)

六十九

軟 (カン) 脂油 (シユ)

液體 (エキ) モノ

屬 (リョク) シ

纖維 (センイ) ゴ

厚層 (コウソウ) カハ

堅硬 (ケンコウ) イカ

核 (カク) シ

七十

椰子實 (ヤシノミ) ノ

液體 (エキ) モノ

胚乳 (ハイニユ) (幼植物子中ニ備ハレルモノ)

發芽 (ハツガ) ダス

椀 (ワン) ヲ

七十一

椰子實 (ヤシノミ) ノ

腐敗 (フバイ) サク

漂著 (ヒョウシヤク) ツク

第十九課 此課ニハ、象ノコトガ、カイテアル

七十一 象 亞弗利加 棲めり 七十二 暗く 冷 蠅 沐浴 水ニ入りテ、カラダチア

七十三 近傍 深林 成熟 垣 踏み荒し 悠悠 ソロソロ 群

七十四 牝象 猛烈 伶俐 牙 匹 馴養 カラシ

第二十課 此課ニハ、本ヲ借リニ、ヤル手紙ト、ソノヘンジガ、カイテアル

七十五 所持 紀行書類 暫時 借覽 七十六

觀察 珍談奇話 澤山 記載 漫遊 伯父 實

驗談 ホントニ、デアツタハナシ

第二十一課 此課ニハ、ムカシ世ガ、ミダレタトキノ、ハナシガ、カイテアル

戰國時代 兩立 七十七 群雄 割據 武田 上

杉山陰 併せ 根據 領し 七十八 越中 加賀 能登 併有

長曾我部 島津 鼎沸く 伊賀 志摩 略有 天下に號

令す 七十九 弑せられ 治平

第二十二課 此課ニハ、豊臣秀吉ノハナシガ、カイテアル

活潑 奇才 奴僕 八十 立身 長濱 城主 討伐

還し 天下の大勢を定めけり 舊臣 柴田勝家

威名 思み 除かんとしければ 尋で 元親 降し

景勝 北陸 和し 八十一 義久 應仁 以來 鎮定

聚樂 邸宅 上皇 行幸 誓はしめ 加藤清正 義

金帛 八十二 抑ふる 輝元 小西行長 加藤清正 義

弘^{ヒロ}蜂須賀家政^{ハチスガカサキ} 部將^{ベウジョウ}ノ大将^{ダイジョウ} 八十三^{ハチジウサン} 救^{スクベ} 書辭^{シヨジ}ノゴトメン 結びて解^トけ
 ざる慶長^{ケイチャウ}

第二十二課

此課ニハ、三宅尙齋ト云フ人ノ妻ノハナシガ、カイテアル

三宅尙齋^{ミヤケシヨウサイ} 重固^{シヨウカダ} 山崎闇齋^{ヤマザキアンサイ} 八十四^{ハチジウヨン} 門人^{モンジン}シテ 獄^{ゴク}ヤロー 夫人^{フジン}ガタ 託^{タク}シタノ

貳拾斤^{ニシツキン} 兩^{リウ} 懇^{ネン}ネイ 心^{ココロ}ノ及^{およ}ぶかぎり 八十六^{ハチジウロク} 貯^{タク}ヘ 窮^{キウ}シリコマ 八十五^{ハチジウゴ}

救^{ユル}す 徐^{モトモト}ニ 蚊帳^{カヤ} 心^{ココロ}ノ及^{およ}ぶかぎり 八十六^{ハチジウロク} 貯^{タク}ヘ 窮^{キウ}シリコマ 八十五^{ハチジウゴ}

れ^レラレタ人^{タヒト} 蚊帳^{カヤ}

第二十四課

此課ニハ、妻ガ夫ヲタダスクルコトニ、ツキテノ心得ガ、カイテアル

八十七^{ハチジウシチ} 内助^{ナイシュ} 整理^{セイリ} ムル 司^{ツカサド}り 委^{ユダ}ねて 八十八^{ハチジウハチ} 内顧^{ナイコ}ノ憂^{ウレハ}ノシンバト

心力^{シンリキ}ヲ注^{ソウ}ガしめん 綿密^{ベンミツ}カイ 出納^{スイトウ} 來客^{ライキヤク}ヒト 應接^{オウセツ}ラヒシ 八^{ハチ}

十九^{ジュウ} 家政^{カセイ} ムルコト 社^{シャ}會^{カイ} ナカノ 奔^{ホン}走^{ソウ}ク^クアルガシ 同情^{ドウジョウ}ヲ表^{ヒキ}シ 九^ク十^{ジュウ} 顧^コ

慮^リバシ

第二十五課

此課ニハ、我國ガ、万国ニスケレテナル、ワケガ、カイテアル

國體^{コクタイ}ノ精華^{セイワ} グレテ、ヨキコト 見^ミわかぬミラケ 戴^{イダ}き 氣^キ高^{タカ}ク 九十一^{クウジウイチ}

峙^シてる 琵琶^{ヒバ} 湛^{タン}へて 誇^ホるムリキ 萬^{マン}世^{セイ}一^{イツ}系^{ケイ} 無^ム窮^{キウ}リナシ 力^{リキ}むる

九十二^{クウジウニ} 一天^{イツテン}萬^{マン}乘^{ジョウ}ノ君^{キミ} 迫^{セマ}られ 法^{ホウ}廷^{テイ}ヲシヨバ 開^{カイ}闢^{ヒョク}ハシラケ 紊^{ミダ}れず

大御寶^{オホミタカラ} 愛^{アイ}撫^ブニスル 扶^ソ翼^{ヨク}グス 覺^{カク}悟^ブ 曾^{ソウ}ニマ 尊^{ソン}嚴^{ゲン}イカメシク 九十三^{クウジウサン} 皇祖^{コウソ}

皇宗^{コウソウ} 天^{テン}皇^{コウ}陸^{リク}下^ゲノゴ 遺^イ風^{フウ}ル^ルフ^フノ^ノギ 特^{トク}色^{シヨク}ノ^ノコト 消^{シヨウ}失^{シツ}セル^{セル}エウ 衰^{サイ}微^ヒヘル^{ヘル} 發^{ハツ}揚^{ヤウ}アル^{アル}ゲ

高等小學 國語讀本字引 第二學年用終

明治三十四年四月十六日印刷
明治三十四年四月廿一日發行

定價金六錢

伊藤光平

長野縣諏訪郡中洲村二百六十七番地

一柳直人

東京市神田區裏神保町六番地

上原書店

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

佐久間衡治

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

株式會社 秀英舍工場

信州上諏訪町

同

上州前橋

武州鴻ノ巣

日新堂書店

秦三光堂

煥平堂書店

長島爲一郎

不許複製

大賣捌

長野市大門町
上田原町
佐久野澤町
松本本町二丁目

西澤喜太郎
西澤支店
西澤支店
高美書店

印刷所

印刷者

發賣所

發行者

編纂者

肆書捌賣

飯田	平野	同	上諏訪	同	上田	同	長野	同	同	同	同	松本
皆川半四郎	伊東三省堂	宮坂文弘堂	堀田盛文堂	小宮山儀市	小林佐平治	荻原朝陽館	増屋書店	明倫堂書店	鶴林堂書店	松榮堂書店	水琴堂書店	教益株式會社
同	小諸	福島	池田	同	大町	片丘	洗馬	木下	赤穂	高遠	伊那	飯田
中屋七郎兵衛	小山佐傳次	藤森書店	平林商會	丸屋廣吉	松本正信	永原高明堂	都筑文明堂	笠原開明堂	氣賀澤書店	矢島民也	福澤文星堂	今村書房
吉田	飯山	須坂	松代	同	稻荷山	望月	高野	野澤	同	同	岩村田	小諸
長田忠之助	芳潤堂	山下條三郎	共和堂書店	寺澤鶴吉	小出喜作	青木泰藏	高見澤和市	岩下書店	昇進堂	大坂屋浮藏	文盛館	鹽川清之助

一柳直人君編纂

文部省
規定
小學
字典

美本 全一冊
正價 金十錢
郵稅 金四錢

我文部省が小學校令を改正發布すると同時に、尋常小學校に於ける、漢字の使用數を限定せられたるは、實に古今の英斷にして聖代の偉業なり。本書は此盛舉を普及せしめんとの微意を以て、規定漢字一千貳百字を擧げ、極めて正確なる字音及び字訓を施し、以て帝國幾萬の兒童が日々校舎に入りて、親しく教師より學ぶ側にありて、其往々忘るゝあるに備へ、一面には不幸にして、聖世の恩澤に漏れ、生れて一日の教育をも受けず、營々として勞作工力の中に長せるものをして、せめては國民必須の字を知らしめんとす。請ふ世の教育に意を注ぐの士、一本を購ふて子弟に頒たれんとす。

東京市神田區裏神保町六番地

發行所
上原書店
拜白

宮下貞象 閱
伊藤光平 編

第四學年用

高等
小學
國語讀本字引

東京
上原書店藏

宮下貞象
伊藤光平
編閱

第四學年用

高等小學
國語讀本字引

東京

上原書店藏

高等小學 國語讀本索引 第四學年用

宮下貞象 閱
伊藤光平 編

◎卷之七

第一課

此課ニハ、我國民ノ、如何ナル、
モノナルカ、ガ、カイテアル

一 系統ケイテイ

所謂ソウイ

何時イツトキしか

我が民俗ミンソクに化ケルして

我が國人コクジンノ、

二種ニシユ

族ソク人民ニン

國家コクガの體タイをなす

國チ形ケイ

流浪リウレイ

三

純美ジュンビ

高潔コウセツ

國俗コクソク

四

倫常リンジョウ

儒教ジュウキョウ

同化ドウカ

五

意匠イシヨウ

補オギナひ

竟ヒトに

六

遠大エンダイの志シ

第二課

此課ニハ、日清戰爭中、黃海
ノ戰ノ、モトガカイテアル

卷之七 第一課 第二課 第三課

七 浪速 秋津洲 先鋒 旗艦 橋立 嚴島 扶桑 千代田

比叡 赤城 西京丸 煤烟 すは(八ノヨ) 準備 意 小さく 鎮

遠 定遠 致遠 楊威 八 超勇 水雷艇 零時 メートル 徐る

應戰 經遠 來遠 火を失する 大損害 九 逃走

十一 大連灣 海上權 司令長官 公報 士官

下士 言を待たず 神色自若 靜肅 符

節を合するが如し 第二課 此課ニハ、軍人ニ賜ハリ、

十一 統率 躬 大伴 まつるはぬ 高御座 沿革

十二 委ぬ 倣はせ 六衛府 馬寮 防人

狙れて 文弱に流れ 徴兵 壯兵 棟

梁 十三 挽回 戻り 弘化 嘉永 剩へ 宸襟を惱ま

蒼生 順逆 惶けれ 十四 版籍 良弼 大綱 十五

攬り 肯て 篤く 斯旨 中世以降 失體 股肱

十六 維揚り 借にする いでや

第十七 本分 偶人 隊伍 節制 烏合 消長 不覺 統屬

八 世論に惑はず 拘はらず 鴻毛 驕傲 公務

停年 十九 隸屬 輕侮 驕傲 公務

第四課 此課ニハ、前ノ續

シサムル也、(屬ハ) 停年 同シ役ヲ勤メ居ル年數

威嚴を主とす <small>威光ヲ立ツル</small>	紊り	二十	和諧 <small>和イナシカ</small>	音	蠱毒 <small>毒ニ、ナシ</small>	の
みか、は <small>ハカリテ</small>	尙ぶ	血氣にはやり <small>元氣ニ、マカセテ</small>	二十一	膽力を練り <small>力ヲ練リ、チキヨ</small>		
思慮を殫して <small>考ヘテ</small>	豺狼 <small>山犬、オホカミ</small>	心すべ <small>心ヲシ、チツケ</small>	二十二	わきて		
踐行 <small>フミオコシ</small>	分 <small>フン</small>	審 <small>ツマヒラカ</small>	臆氣 <small>オホコシ、セメ、コト</small>	假初 <small>カリス、ソメ</small>	諾 <small>ウタガ</small>	ひ <small>シテ</small>
進退谷まり <small>ドリスルコト</small>	措 <small>オ</small>	詮 <small>セン</small>	二十三	小節 <small>シヨウセツ</small>	私情 <small>シヨウ</small>	警 <small>イ</small>
やは、あるべき <small>決アルベキカ、</small>	質素 <small>シツソ</small>	趨 <small>ヘシ</small>	華靡 <small>ケワヒ</small>	二十四	貪汚 <small>カンウ</small>	に陥 <small>オチ</small>
無下 <small>ムゲ</small>	瓜 <small>ウラ</small>	中々 <small>ナカ、ツカヘ</small>	蔓延 <small>マンエン</small>	懼れ	曩 <small>ナギ</small>	に免黜 <small>ムクニツ</small>
條例 <small>ジョウレイ</small>	惡習 <small>アクシユ</small>	訓 <small>ユシ</small>	二十五	等閑 <small>トウケン</small>	な、思 <small>オモ</small>	ひ <small>ヒ</small>
言 <small>コト</small>	人倫 <small>ジンリン</small>	常經 <small>ジョウケイ</small>	人ノ、常ニ守ル	遵 <small>シタガ</small>	ひ <small>ヒ</small>	て
				二十六	舉 <small>コト</small>	り <small>リ</small>

第五課 此課ニハ、護良親王ノ、事ガ、カイテアル

二十	和諧 <small>和イナシカ</small>	音	蠱毒 <small>毒ニ、ナシ</small>	の
二十一	膽力を練り <small>力ヲ練リ、チキヨ</small>			
二十二	わきて			
二十三	小節 <small>シヨウセツ</small>	私情 <small>シヨウ</small>	警 <small>イ</small>	め <small>メ</small>
二十四	貪汚 <small>カンウ</small>	に陥 <small>オチ</small>		
二十五	等閑 <small>トウケン</small>	な、思 <small>オモ</small>	ひ <small>ヒ</small>	て
二十六	舉 <small>コト</small>	り <small>リ</small>		
二十七	大塔 <small>ダイトウ</small>	宮 <small>ミヤ</small>	護良親王 <small>ゴリヤウシンノウ</small>	般若寺 <small>ハンニヤシ</small>
二十八	一乘院 <small>イツジョウイン</small>	好專 <small>コウセン</small>	防 <small>フセ</small>	ぎ <small>ギ</small>
二十九	唐櫃 <small>カラヒツ</small>	蓋 <small>フタ</small>	かついで <small>カブ</small>	搜 <small>サガ</small>
三十	兵 <small>ツハ</small>	あさ <small>アサ</small>	ま	
三十一	佛壇 <small>ブツダン</small>	天井 <small>テンジョウ</small>	是體 <small>コレタイ</small>	櫃 <small>ヒツ</small>
三十二	覺束 <small>オボツカ</small>	なし	大唐 <small>ダイトウ</small>	玄奘 <small>ゲンジョウ</small>
三十三	隱家 <small>カクレガ</small>			
三十四	案 <small>アン</small>	に相違 <small>ソウイ</small>	して <small>シテ</small>	怪 <small>アヤ</small>
三十五	足袋 <small>タビ</small>	草鞋 <small>クサジ</small>	奉 <small>ホウ</small>	

第六課 此課ニハ、前ノ續カ、カイテアル

第七課

此課ニハ、徳川氏ノ頃ノ、文學ノ事ガ、カイテアル

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

三十五

文運

氣運

僧侶

惺窩

奨め

勃興

の氣運に向へり

第八課

此課ニハ、前ノ續ガ、カイテアル

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

第九課

此課ニハ、會社ノコトガ、カイテアル

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

三十八

太宰春臺

服部南郭

辭章の上にはせ

文ヤ、字ナドノ、リ

マズ

三十八

太宰春臺

第十課

此課ニハ、商人ノ守ルベキ道ガ、カイテアル

四十七

信用

列擧

四十八

眩マシ

四十九

浪費

五

十

契約

嚴重

五十一

丁寧

應接

一足飛

綿密

第十一課

此課ニハ、土地家屋ノ、賣リワタシテ、問ヒ合ハスル手紙ト、其返事トガカイテアル

五十二

過般

五十三

宥恕

寶來町

釀造

恰好

絶

望

承諾

芳翰

五十四

來示

第十二課

此課ニハ、了伯トイフ人が、昔ノ軍ノ話ヲキ、テ、カンシンセシコトガ、カイテアル

幕下

了伯

五十五

平家

琵琶法師

咽ばれ

頼

幕下

落涙

數行

及べり

輩

不審

五十六

曲

もしく

五十七

合點

舍弟

蒲冠者

寵臣

先登

鳴

名をれ

五十八

某

鎗

辭

第十三課

此課ニハ、からまつノ、作り方カ、カイテアル

栽培

五十九

卑濕

流行

識別

材質

鞏固

暗褐

苗床

播種

六十

土塊

耕鋤

畦

適

宜

除草

日覆

樹苗

枯死

灌ぐ

發芽

母樹

十一

水選

平坦

篩ひ

施せば

漏る

悉皆

六十二

植

輓近

床替

距離

六十三

伐採

第十四課

此課ニハ、材木ノ性質ト、用法トガ、カイテアル

横斷

截面

年環

環線

臚線

赤身

白肌

六

十四

堅硬

脂氣

朽腐

腐敗

收縮

六十五

挽き割

り **木理** モリ **縦直** ジュウチキ **平行** ヘイコウ **兩側** リョウソク **疎大** ソウダイ **斜** ナカ **正目** マサメ **直** チキョク

角 カク **六十六** **減縮** ケンシュク **反轉** ハンテン **耐荷力** タイカリキ **緻密** チミツ **鉤** カク

第十五課 此課ニハ、要ノ心得ガ、カイテアル

六十七 **洒掃** サイソウ **應對** オウタイ **かひくしく** ソイサマシ **餘裕** ヨウヨク **内顧** ナイコ

六十八 **恭儉** キョウケン **已** オノレ **持** モチ **家庭** カテイ **虛心** キョシン **貞節** テイセツ

六十九 **憂愁** ユウシュウ **興** キョウ **惡感** アクカン **家** カ **虛心** キョシン

七十 **苦惱** クノウ **興** キョウ **事** コト **陳** チン **陳** チン

第十六課 此課ニハ、看病人ノ心得ガ、カイテアル

七十一 **抽出** シュウシュツ **敏** ミン **七十二** **症狀** シヨウゾウ **判別** ハンベツ **患者** クワンヤ **要求** ヨウキウ

七十二 **情** ジョウ **寡黙** カモク **安** アン **對** タイ **對話** ダイワ

七十三 **情** ジョウ **寡黙** カモク **安** アン **對** タイ **對話** ダイワ

七十四 **睡眠** スイミン **故意** コイ

七十五 **容體** ヨウタイ **診察** シンサツ **遠友** エンユウ **略儀** リョクギ **七十六** **頂戴** テイダイ **腦** ノウ

第十七課 此課ニハ、病氣見マヒノ、手紙ト、其返事トガ、カイテアル

七十七 **大洲侯** **聰明** メイメイ **群** グン **拔** ヒキ **庶人** シヨジン **感激** カンキ **殺** サツ

七十八 **致仕** チシ **俸米** ホウマイ **路用** ロウヨウ **七十九** **出** シュツ

第十八課 此課ニハ、中江藤樹ト云フ

八十 **鎖** ソ **敦厚** トンコウ **飛** ヒ

八十一 **遺** イ **拾** シツ **八十** **鎖** ソ **敦厚** トンコウ **飛** ヒ

八十二 **遺** イ **拾** シツ **八十** **鎖** ソ **敦厚** トンコウ **飛** ヒ

八十三 **遺** イ **拾** シツ **八十** **鎖** ソ **敦厚** トンコウ **飛** ヒ

八十四 **遺** イ **拾** シツ **八十** **鎖** ソ **敦厚** トンコウ **飛** ヒ

脚キヤク 榎木驛エノキエキ 備馬ヒキマ 鞍上アシジョウ 遺ユイ 戻せりモドセリ 酬シユウ いんとイント 肯ケン

ぜず承知 八十一 感化力カクワリキ 八十三 剝ヘ がんガン とす 八十二 理不盡リフジン

愧クワイ ぢチ 犯オカ し 沈勇チンユウ 厚聘コウヘイ 慶安ケイアン 享年ケンネン 玉林ギョクリン

寺テ 涕泣テイキツ 板ヒツ 親を喪シン する

第十九課 此課ニハ、學ヲ勸ムルコトガ歌ニ作ツテ、カイテアル

八十四 書フミ いそしみセイダ 八十五 汝チ そソ 八十六 とト こコ しシ へ

にテ モモ ママ 人ヒト やヤ はハ、しシ らラ んン 人ヒト がガ 知チ ララ ウウ カカ

第二十課 此課ニハ、熱ノ事ガ、カイテアル

運行ウツン 震動シンドウ 物理學ブツリガク 響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ

響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ 響キョウ トト オオ

擊キキ 少シウ ウウ 聽チン 覺キョク、知チ ルル、キキ 觸シュク 覺キョク、レレ テテ 知チ ルル、フフ 膨ホウ 脹チョウ、レレ フフ 容ヨウ 體タイ、大ダイ キキ ササ、 八十九 燭カク 溢イツ 出シュツ、 八十八 傳デン 導ドウ 體タイ、勢セイ カカ ダダ チチ、他タ ニニ 傳デン ルル、 八十七 熾シキ 熱ネツ、赤セキ クク 冷レイ 却キョク、スス ロロ ヤヤ 量リヤウ ルル、音オン、 八十六 壓アツ 縮シュク、ムム オオ シシ、チチ、 九十 化學ケガク、物モノ ノノ、組クミ 立タテ テテ ノノ 變ヘン 化カ、シシ ララ アア ルル 學ガク ナナ リリ、 九十一 酸化作用サウカサヨウ、酸サン 素ソ トト 化カ 合カウ スス、燃ネン 燒シヤウ、ルル、モモ ュユ、伸シン 縮シュク、ミミ、チチ、重ジュウ 力リキ、物モノ チチ、地チ ニニ オオ トト、 九十二 圓錐形エンスイケイ、底ソコ、ママ、ロロ、クク、頭カビ 尖ササ、リリ シシ 形ケイ、 九十三 逸出イツシュツ、テテ ルル、 九十四 急キウ、 九十五 漸次ゼンジ、ダダ、ンン、 九十六 面影オモカゲ、ガガ スス、 九十七 天テン 涯ヤ、萬マン 里リ、天テン 地チ ノノ、ヘヘ、ダダ、遠エン、クク、ハハ、リリ、ノノ、如ニ、クク、ハハ、ナナ、ハハ、ダダ、遠エン、クク、ハハ、ナナ、レレ、タタ、ルル、事ジ、 九十八 比隣ヒリン、ナナ、リリ、 九十九 西曆セイレキ、西セイ 洋ヤウ 紀キ 元ゲン、 一百 炭坑タンコウ、石シ 炭タン、チチ、 赤セキ、

九十七 天テン 涯ヤ、萬マン 里リ、天テン 地チ ノノ、ヘヘ、ダダ、遠エン、クク、ハハ、リリ、ノノ、如ニ、クク、ハハ、ナナ、ハハ、ダダ、遠エン、クク、ハハ、ナナ、レレ、タタ、ルル、事ジ、 九十八 比隣ヒリン、ナナ、リリ、 九十九 西曆セイレキ、西セイ 洋ヤウ 紀キ 元ゲン、 一百 炭坑タンコウ、石シ 炭タン、チチ、 赤セキ、

貧洗ふが如くヒンアブラ マツシクテ、何 九十八 志操シヨウソウ 資性シセイ 擢んでられ

機關手キカウテ 解剖カイボウ 仔細シジヨク 觀察クワンサツ 蓄積チクセキ 粘土ネンツ

九十九 圖書トウショ 少閑シヨウカン 活計カツケイ 資シ 行動機器コウドウキ 百 雷名ライメイ

恆心コウシン 耐久ダイキウ 因イン 宇内ウナイ 冠クワン

第二十三課 此課ニハ、事ヲナスニ付テ

百一 性能セイネン 忽コト 擔當タンタウ 治辨チベン 順便ジュンベン 循ジュン 序次ジョジ 差サ

敏捷ベンスイ 百二 福祉フクシ 緊要キンヨウ 小コ 累ライ 合湊ゴウソウ 體格タイカク

百三 漸ゼン 努ヌ

第二十四課 此課ニハ、ヨク悪人ヲ善ニ導キタル、サラ

百四 百五 牢獄ロウゴク 看視カンシ 囚人シユイジン 遍ヘン 打擲チヤク 詐欺サキ 百

六 會カイ 悔悟クワイゴ 獄吏ゴクシ 百七 全力ゼンリキ 注ツ 教誨キョウカイ

百八 襦袢ジュハン 顧客コクヤク 百九 天職テンシヨク 百十 地方官チホウカン 年ネン

金キン 與ユ 年々定マリテ、
與ヘラル、金

第二十五課 此課ニハ、人ノ道ヲ歌

百十一 心シン のいのちのち心ココロノ、一番大切ナル事ニテ、 ひだのたくみ飛驒ノ大(昔ヨ)

すぢめシ多 よそほい手多 おきてシ多 ひめごと手多

◎卷之八

第一課 此課ニハ、我國ニテ憲法ヲ發

一 憲法發布ケンポフポフ 集ツ 二 隆昌リウシヨウ 慶福ケイフク 中心チュウシン 欣榮キンエイ

不磨フマ 大典ダイデン 宣布センポ 惟オモ 協力キョリキリキョク 倚ヨ 肇造チョウゾウ

無窮ニ垂レタリ限リナキ後、マ 茲ニ公ニ徇ヒ國家ノ爲ニカ 成跡ヲ貽シ立派ナル

二三 回想考ヘテ、思ヒ出ス 奉體心得 獎順從ヒ、タス 和衷協同中ヲヨクシ、力ヲ合スル 希望キゾミ

御通輦御ト(兩陛下) 四 歡樂シシ 千載一遇千年一度 歡呼ヨロコビ

第一課 此課ニハ、我國憲法ノ事ガ、カイテアル

五 治國の大綱國ヲ治ムル、大本ノ法 分義ワカ 遵奉從ヒ、守ル 統治チサ 神聖にして侵オカ

すべからず尊クシテ、他カラ、ド 裁可御ユ 勅令國會ヘ、カケズニ布告セラル、法令 六 統帥ヒキ 戰ダ、カヒ

を宣し戰チ、敵國ニ、申渡ス 大赦ヒロク、罪人ヲユル 特赦罪ヲ赦ス、別ニ、 言論を發表し思フ所チ、廣ク、世人ニ知ラセテ 著チヨ

述書チ、ア 出版版ニ、 逮捕トラヘ 監禁牢ナドヘ、 裁判官訴訟ナドチ、ト 開封封チ 七

協賛上ノ意見ニ 責に任ず引ツ 樞密顧問官 八 立憲憲法チ、

第二課 此課ニハ、政府、議會、裁判所、ノ、ワケガ、カイテアル

立法規則チ 行政行政チ 司法法ノ、行ナハル、ヤ、 九 貴族院 衆議院 公侯爵

華族 伯子男 互撰仲間カラ、 多額納稅者多クノ稅チ、 十 勅任勅ニヨリテ、任

公撰同ノ中カ 撰舉權ケラフ、 被撰舉權ケラバ 著目目チツ 公正の意見正シ

遞信 十一 主務主トス 大臣官房 總務長官 祕書官 行政區行政チ

爲ノ、シ 十二 大審院 控訴院 刑事罪ニ付キ 爭訟シ 判決ヨシ 刑罰オシ

控訴控訴院ヘ、 上告大審院ヘ、

第四課 此課ニハ、我國ノ、風景

十三 映映 秀麗ウツクシテ、 屹立高ク 十四 山容山ノ 雄大大キイ 鎮メツ

常陸 筑波 妙義 風致品ガ 利根川 洋々水ノ、ヒロク 石狩川 玖磨川

最上川 十五 舟子下 扁舟小 あやつり扱ヒ 畫幅 點々ボツ 蘆

湖峰巒	翠色滴らんとす	湛へ	蘇し	中禪寺	幽男
體山	聳え掬す	山屋	華嚴	趣	三保
佳	須磨	明石	海人	苦屋	飽く
耶馬溪	懸泉	飛瀑	十八	飽く	造化
宜なり	奇趣	宜なり	宜なり	宜なり	宜なり
第十九	八十し	しま	多ク	しるし	レヨク、シ
第二十	豫定	二一	紀行の一部	旅日記、ノ、	一部分
第二十二	權大納言	宣房	左大辨	參議	左兵衛督
	檢非違使	別			

當正二位	叙	禁闕	課	變	を上らしむ
季房	宿直	二十三	装ひ	擁し	陽明門
肩輿	御し	供奉	相失し	二四	具行
伏し	有王山	露滴	濡せり	慨かせ	二五
深須	六波羅	忠顯	功を論じ	二六	奸臣
天明を蔽ひ	恩賞	朝せざり	弊政	途	
に遮られ	已を得ず	岩藏	詳にせず		
第二十七	籠城	相撲	二八	尺寸	尾花の末
寄手	高櫓	微塵	漂ふ	轉び	三十
					たばかり
					居睡覺

ん 甲胃カウチノロヒ 疊楯タカミツ 三十一 関トキ たくめるシタレ

第九課 此課ニハ、沙漠ノ事ガ、カイテアル

三十二 三十三 反射ハシヤ 返テリ 瓶水ビン ノ水 須臾シユ ラシバ 颶風ウツク シツム 捲きマ アゲキ 三十

第十課 此課ニハ、駱駝ト、駝鳥トノ話ガ、カイテアル

四 埋没マイボツ ムルツ 劇變ゲキベン カハル 標悍ヒョウカン シツル 強奪ゴウダツ ドリ 出沒シュツボツ 出タリ、カ、 磁針ジシン ヤクシ 駱駝ラクダ

第十一課 此課ニハ、月ト、日トノ事ガ、カイテアル

三十五 頸ネ 肉塊ニクノカ 膝ヒザ 荆キ ライバ 傷はず 上唇ジョウリン ビル 三十六 脂シ

四十 豌豆エン 四十一 四十二 盈虧エイコ カケ 潮汐チウシ ヒキシホ、 四十三 上弦ジョウケン

第十二課 此課ニハ、米國ノ賢人、フランクリンノ、事ガ、カイテアル

四十五 編入ヘンニユ ル、入 四十六 蠟燭ロウソク 石鹼シヤボン 私塾シジュク 私立 四十七 印刷インサツ 版ニ

第十三課 此課ニハ、前ノ續ガ、カイテアル

珍本チンホン シキ本 緋ヒ ヲ開キ 四十八 主筆シュヒツ 新聞チ書 昌サカ え 躬行キョウコウ 行フ 節制セツセイ リチ、ツケル

卷之八 第十二課 第十三課 第十四課 第十五課 二十一

節國ノ名代トナ 使命を完ふしニ務メテ 援兵ノ兵 五十四 要職重キ 任メヤク

退隱居 逝きしかダシ 喪に服せしめたりケサセタ 門地ガイヘ

第十四課 此課ニハ、電氣事業ノ事ガ、カイテアル

五十五 應用テ、用キルメ 摩擦ル 琥珀 塵埃コリ、ホ 五十六 雷鳴ナリ 鍍

金法符號シ 五十七 送話機シカケ 發動器ス、シカケ 屈曲ルマガ 五十

八 槓杆コテ 調ブル 眞空ナルコト 五十九 孤燈 孤狀ナリ

第十五課 此課ニハ、有用ナル金石ノコトガ、カイテアル

六十一 六十二 此の點に存せり 此事ガ、アル 猿猴 燃料モノ 六十二

鹽酸加里 硫化ノ、化合 燐 六十三 石灰石 炭酸

第十六課 此課ニハ、あめりかノ地チ見出シタ話ガ、カイテアル

六十四 球形ガタル 方平 四角テ、タ 鬼界クゴ 墜ツ 妄信 六十五

歴遊アルク 熱心ニ生ケ 渡航費 入用金 補助ケダス 嘉シ 艦シ 歸帆

船チ、カ、ヘス 慰撫 怒濤 波 胃シ

第十七課 此課ニハ、ろしマノ名君ベトル帝ノ話ガ、カイテアル

六十六 六十七 跨り 野鄙下 六十八 英明の資 文明の

域ノ、仲間 六十九 俊良 ナルコト 任用ケル 法制規則 訓練 日給

自炊 揮ひ 鍛冶 具にく 天文 七十 宿志

銳意 風を移し 俗を易へ 改革 一躍 屈指

偏在 企圖 剛邁 堅忍不拔 雄視

第十八課 此課ニハ、頼山陽ノ話ガ、カイテアル

七十一

賴襄

逸才

嬉戲

城廓

句讀

寢食を忘る

東坡史論

七十二

遊學

尾藤二洲

菅茶山

山紫水

明處

郷信

莊子

七十三

遺憾

侍遊

儉

素

瘦せ

炯々

威風

七十四

昇平

日久

氣節

を以て

自持し

野服

父母の國

朝服

日野

資愛

招請

野人

習はず

野服

遇せらる

七十

五

伊丹

高り

嗜み

七十六

樂翁

需む

命

志業

死計

稿

七十七

假睡

尊王

名分

君臣

上下

嚮ふ

第十九課

此課ニハ、我國カラ歐洲各地ヘノ、航路ノ事ガヨイテアル

椅子

七十八

疾病

安泰

目ざす

噸

海

七十九

信風

晴朗

袂

涼

とわやか

岬角

要衝

八十

海峽

指點

埃及

倒懸

蜃氣

樓

八十一

幻影

希臘

八十二

馬耳塞

巴里

伯林

八十三

奢侈

闘はせり

形勝の地

八十四

街頭

街

雜沓

高架鐵道

貴顯

富豪

八十五

水晶宮

第二十課

此課ニハ、洋行シテ居ル人ニ買物ヲタヌム手紙ガ、カイテアル

八十六

欣喜

恐縮

扁額

奉納

八十七

煩はし

折角

第二十一課

此課ニハ、南洋諸島ノ事ガ、カイテアル

赤道線 地球ノ兩極ヨリ、同距離ニアル想像線ニテ、地球ノ中央トスベキモノ

八十八

阿西阿尼亞

新西蘭

密接

八十九

出稼人

土蠻

九十

部落

軒

競馬場

九十

一 合併

過半

九十二

九十三

第二十二課

此課ニハ、母ノナスベキ務ガ、カイテアル

九十四

いつしか

たづさはる

九十五

姪婦

容儀

めでたく

癖

九十六

才徳

九十七

九十七

九十七

禮容

溺れず

第二十三課

此課ニハ、難儀ニ、駟ル、様ニセヨ、トノ事ガ、カイテアル

九十八

從僕

九十九

放逸

不意

變

九十九

苦

痛

私慾

百 姑息

愛

害

害

第二十四課

此課ニハ、我 皇室ト、臣民トノ、間柄ガ、カイテアル

百一 百二

義

辨

治教

百三

百三

百三

遺體

照臨

易

正胤

同體

同體

同體

同體

同體

第二十五課

此課ニハ、我國開化ノ有様ガ、カイテアル

相違

一新

五

想

世態

變遷

士

常職

全國

皆兵

弊習

封

建

官

長

官

設

警察

備荒

駸々

苟

二七

官

長

立

嚴罰

音

信

教

長

足

進

要

要

遵

特

色

各

各

各

高等小學國語讀本字引 第四學年用終

明治三十四年五月六日印刷
明治三十四年五月九日發行

定價金六錢

編纂者

長野縣諏訪郡中洲村二百六十七番地
伊藤光平

發行者

東京市神田區裏神保町六番地
一柳直人

發賣所

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地
上原書店

印刷者

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
佐久間衡治

印刷所

株式會社 秀英舍工場



大賣場

長野市大門町
上田原町
佐久野澤町
松本市町三丁目

西澤喜太郎
西澤支店
西澤支店
高美書店

信州上諏訪町
同
上州前橋
武州鴻ノ巣

日新堂書店
泰三光堂
煥平堂書店
長島爲一郎

肆書捌賣

飯田	平野	同	上諏訪	同	上田	同	長野	同	同	同	同	松本
皆川半四郎	伊東三省堂	宮坂文弘堂	堀田盛文堂	小宮山儀市	小林佐平治	荻原朝陽館	増屋書店	明倫堂書店	鶴林堂書店	松榮堂書店	水琴堂書店	教益株式會社
同	小諸	福島	池田	同	大町	片丘	洗馬	木下	赤穂	高遠	伊那	飯田
中屋七郎兵衛	小山佐傳次	藤森書店	平林商會	丸屋廣吉	松本正信	●原高明堂	都筑文明堂	笠原開明堂	氣賀澤書店	矢田民也	福澤文星堂	今村書房
吉田	飯山	須坂	松代	同	稻荷山	望丹	高野	野澤	同	同	岩村田	小諸
長田忠之助	芳潤堂	山下條三郎	共和堂書店	寺澤鶴吉	小出喜作	青木泰藏	高見澤和市	岩下書店	昇進堂	大坂屋浮藏	文盛館	鹽川清之助

一柳直人君編纂

文部省
規定
小學
字典

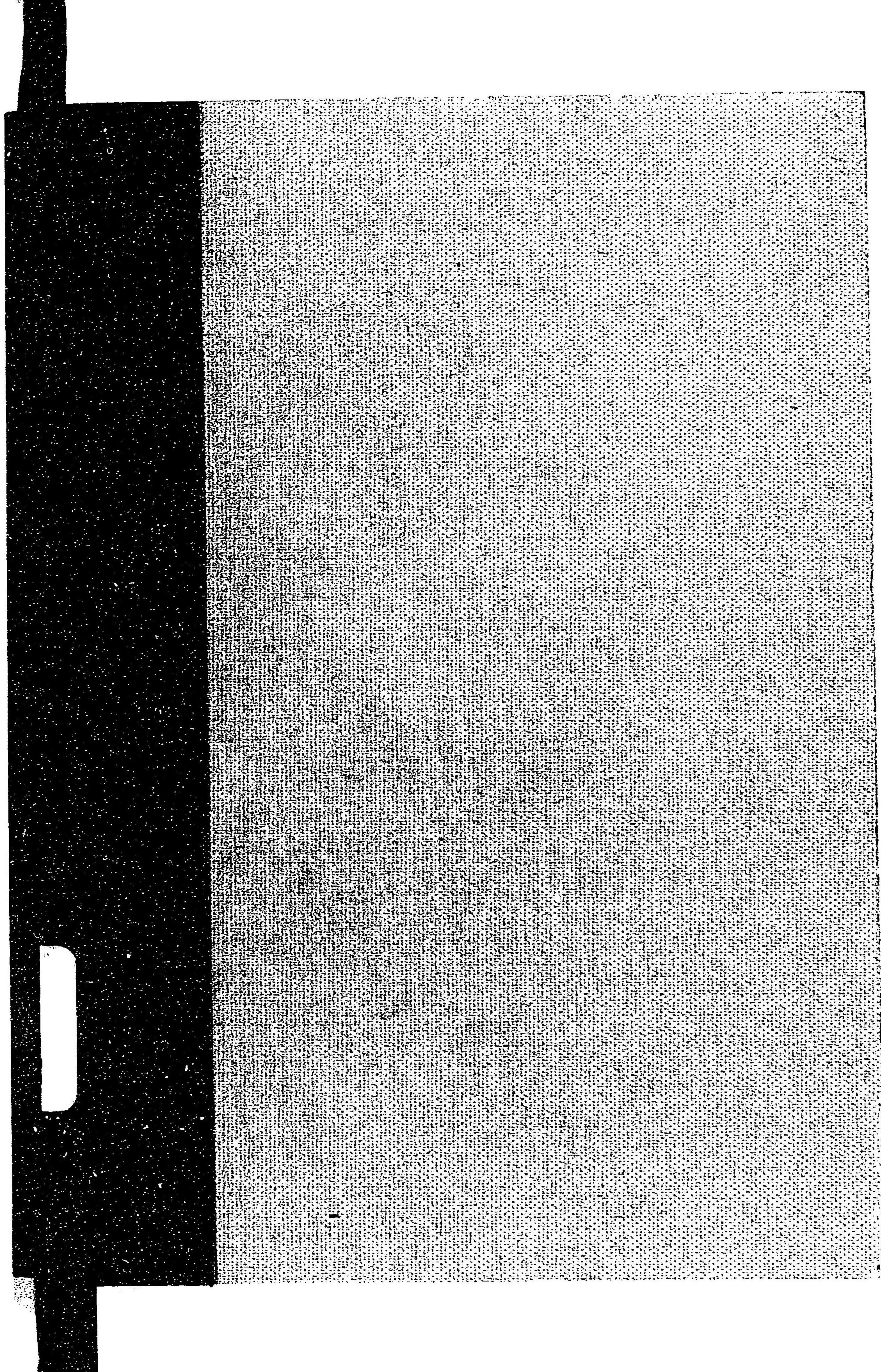
美本全一冊
正價金十錢
郵税金四錢

我文部省が小學校令を改正發布すると同時に、尋常小學校に於ける、漢字の使用數を限定せられたるは、實に古今の英斷にして聖代の偉業なり。本書は此盛舉を普及せしめんとの微意を以て、規定漢字一千貳百字を擧げ、極めて正確なる字音及び字訓を施し、以て帝國幾萬の兒童が日々校舎に入りて、親しく教師より學ぶ側にありて、其往々忘るゝあるに備へ、一面には不幸にして、聖世の恩澤に漏れ、生れて一日の教育をも受けず、營々として勞作工力の中に長せるものをして、せめては國民必須の字を知らしめんと。請ふ世の教育に意を注ぐの士、一本を購ふて子弟に頒たれんとす。

東京市神田區裏神保町六番地

發行所

上原書店



高等
小學國語讀本字引

第1、2、4學年用

国立国会図書館

049179-001-0

特54-593

高等小学国語讀本字引

第1-4学年

伊藤 光平/編

M34

BEL-0106

